

## 株式会社 カンサイ

住所 〒731-5102  
 広島市佐伯区五日市町石内  
 460番地  
 連絡先 TEL:(082)941-1641  
 FAX:(082)941-1715  
 E-mail:kansai@ekansai.co.jp  
 発行責任者 環境管理責任者・北川  
 エコアクション21事務局・舩本

第51期(2017年10月~2018年9月)

発行日:2018年10月24日

## 株式会社 カンサイ

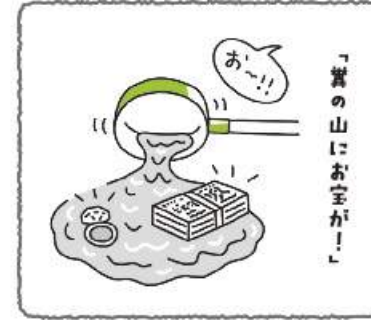
裏面へ続く



昭和61年、お花見



昭和59年、北海道社員旅行



当時の関西特殊産業株式会社



「実は昔のほうが、循環型社会だった」

●浄化槽や下水道が整備され始めるが、地方はまだまだ手つかずであった。

半世紀の間、地域のゴミを収集し、産業の発展と暮らしの豊かさを間近で感じてきたカンサイ。だからこそ、未来に向けて、私たちがすべきことがあると考えています。「環境のカンサイ」は、これからは、走り続けます。

カンサイと暮らしの姿

世の中の動き

海外経験のある工場長が采配。



●回転炉床式焼却炉を設置



●環境計量室を新設



●汚泥肥料リサイクル開始  
 ●ロータリーキルン式焼却炉を設置

●倉橋工場で肥料生産

世界が動いた! <1980年代>

### カンサイの名前の由来

創業者タフガイ勝司は一時関西で名を上げようとしていたが、道半ばで郷里の広島に戻る。商売にシビアな関西を凌駕するような馬力のある会社に育てることを念じて社名に。

●株式会社カンサイに社名変更



当時の焼却炉

●産業廃棄物の収集運搬処理の認可を取得



●産業廃棄物の収集運搬処理の認可を取得  
 ●パキウム車で一般家庭や会社ビルの回りを、糞尿を収集。  
 ●設立当時は山の中にボットンとあった本社と工場。今では大型ショッピングセンターや団地が近隣に。  
 ●明治33年に公布された「汚物掃除法」は廃棄物に関する法律の元祖。

<1970年代>

「創業者 川本勝司は、ここに、商売の糸口を見つける」



<1960年代>

1998年(平成10) 1997年(平成9) 1996年(平成8) 1995年(平成7) 1994年(平成6) 1993年(平成5) 1992年(平成4) 1991年(平成3) 1990年(平成2) 1989年(昭和64~平成元) 1988年(昭和63) 1987年(昭和62) 1986年(昭和61) 1985年(昭和60) 1984年(昭和59) 1983年(昭和58) 1982年(昭和57) 1981年(昭和56) 1980年(昭和55) 1979年(昭和54)

1978年(昭和53) 1977年(昭和52) 1976年(昭和51) 1975年(昭和50) 1974年(昭和49) 1973年(昭和48) 1972年(昭和47) 1971年(昭和46) 1970年(昭和45) 1969年(昭和44) 1968年(昭和43) 1967年(昭和42) 1966年(昭和41) 1965年(昭和40) 1964年(昭和39) 1920年~(大正9)

1998年 世界初クロン牛

1997年 サッカーW杯、日本初出場

1996年 温暖化防止京都会議

1995年 阪神・淡路大震災

1994年 オウム事件

1993年 原爆ドームと厳島神社が世界遺産に。

1992年 0157

1991年 自動車の電話、携帯電話自由化

1990年 サンフレッチェ広島、ステージ優勝

1989年 新広島空港開港

1988年 瀬戸大橋開通

1987年 カウチポテト族

1986年 ソ連崩壊、湾岸戦争

1985年 火砕流、ダイヤルQ2

1984年 パブル崩壊

1983年 サンフレッチェ広島設立

1982年 リリーグ開幕

1981年 昭和天皇崩御で昭和が平成に。

1980年 消費税率導入、ベルリンの壁崩壊

1979年 イカ天、一杯のかけそば、テトリス

1978年 エリマキトカゲ

1977年 かい人21面相

1976年 (グリコ・森永事件)

1975年 ファミコンブーム

1974年 おニャン子クラブ

1973年 新人類

1972年 ヨロシク!

1971年 ソ連ベストロイカ

1970年 ハイビジョン、伝言ダイヤル

1969年 インベーダーゲーム

1968年 イランイラク戦争

1967年 漫才ブーム

1966年 マジダスタジアムは、専用のスライダット(ジェット風船)のみ使用。(ジェット風船)のみ使用。落下後、清掃業者、清掃ボランティアが片付けてリサイクル。

1965年 野球界のお荷物と言われた貧乏球団が市民とともに、セリーグNO.1に。お金なくても熱がある。一生懸命に選手を育てる土壌は、ここから始まった。

1964年 山陽新幹線全線開通

1963年 広島東洋カープ初優勝

1962年 土地ブーム

1961年 オイルショック

1960年 日本列島改造論、超高層ビルの時代へ

1959年 東京ゴミ戦争

1958年 光化学スモッグ

1957年 アポロ11号月面着陸

1956年 使い捨ての大型消費景気に浮かれていた時代

1955年 3C時代

1954年 (カー・クーラー・カラーテレビ)

1953年 カラオケ大ブーム

1952年 東京五輪、開催

1951年 東海道新幹線開通

1950年 250km/h

1949年 イエイイ

1948年 「とんどん家が建つ」

1947年 大きな一歩だ!

1946年 大まな

1945年 大まな

1944年 大まな

1943年 大まな

1942年 大まな

1941年 大まな

1940年 大まな

1939年 大まな

1938年 大まな

1937年 大まな

1936年 大まな

1935年 大まな

1934年 大まな

1933年 大まな

1932年 大まな

1931年 大まな

1930年 大まな

1929年 大まな

1928年 大まな

1927年 大まな

1926年 大まな

1925年 大まな

1924年 大まな

1923年 大まな

1922年 大まな

1921年 大まな

1920年 大まな



ご挨拶	2	09. 環境関連法規・訴訟等の有無	32
01. 会社概要・沿革等	3	10. 許認可情報等	33~36
02. 環境方針等	4	11. 代表者による全体評価と見直しの結果	37
03. 推進体制並びに責任と権限		12. 編集後記	37
① 推進体制	5		
② 責任と権限	5		
04. 環境負荷の実績と考察47期~51期			
① 実績	6~7		
② 考察	7		
05. 51期の環境活動計画と中期環境目標			
① 51期の環境活動計画	8		
② 中期環境目標	9		
06. 各部署51期の取組みと実績・評価	10~29		
07. 52期の環境活動計画	30		
08. 第三者意見	31		

対象事業所	本社	広島県広島市佐伯区五日市町石内460番地
	本社工場	広島県広島市佐伯区五日市町石内460番地
	倉橋工場	広島県呉市倉橋町字田野尻山935番地
対象期間	2017年10月~2018年9月(第51期)	
認証番号	0004647	
認証登録日	2010年2月22日	

## 原点

株式会社カンサイは、創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。

また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、

併せて人類と自然との調和を大切に

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

## 創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

## 調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取組んでまいりました。

また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ  
代表取締役

川本 義二



# 01 会社概要・沿革等

## 会社概要

会社名	株式会社カンサイ
所在地	広島県広島市佐伯区五日市町石内460番地 TEL:(082)941-1641 FAX:(082)941-1715
代表者	代表取締役 川本 義二
環境管理責任者	環境事業部部长 北川 貴伸
エコアクション21事務局	総務部 舛本 奈美
従業員数	44名
敷地面積	13,838㎡
資本金	18.4百万円
中間処理量	第51期 13,515t
収集運搬量	第51期 7,511t
売上高	第51期 700百万円
URL	<a href="http://ekansai.co.jp">http://ekansai.co.jp</a>
事業内容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理 建設土木工事 総合リサイクル業 環境衛生プラントのメンテナンス 環境計量証明事業 肥料製造業 上下水道の調査

## 沿革

1968年 2月	産業廃棄物処理を目的に関西特殊産業株式会社を設立
1972年 9月	産業廃棄物の収集運搬処理の許可を取得
1979年 7月	ロータリーキルン式焼却炉を設置
1979年 10月	汚泥肥料生産 肥料生産販売業届出
1982年 4月	環境計量室を新設
1985年 12月	倉橋工場を新設
1991年 10月	回転炉床式焼却炉を設置
1998年 10月	株式会社カンサイに社名を変更
2010年 2月	エコアクション21認証取得
2014年 7月	広島県特別管理廃棄物収集運搬業許可の優良認定
2015年 9月	回転炉床式焼却炉にバグフィルター設置

## 51期賞歴

●環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の「第21回環境コミュニケーション大賞」の環境活動レポート部門において、優良賞を受賞しました。

### 審査員の講評

- 人材育成に力を入れている。
- カンサイ理念手帳を作成し、社員として求められている15の判断基準を明確にしている。
- 活動をきめ細やかな単位で管理している。
- 環境力道場にて、先進的な環境教育を実施している。



# 02 環境方針等

## 社是

人と人の調和  
人と自然との調和を大切に

## 企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに  
併せて人類と自然(全人類 大自然)との調和を大切にする

## 環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

## 行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

## 基本方針

1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
  - CO<sub>2</sub>排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO<sub>2</sub>吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
  - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
  - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

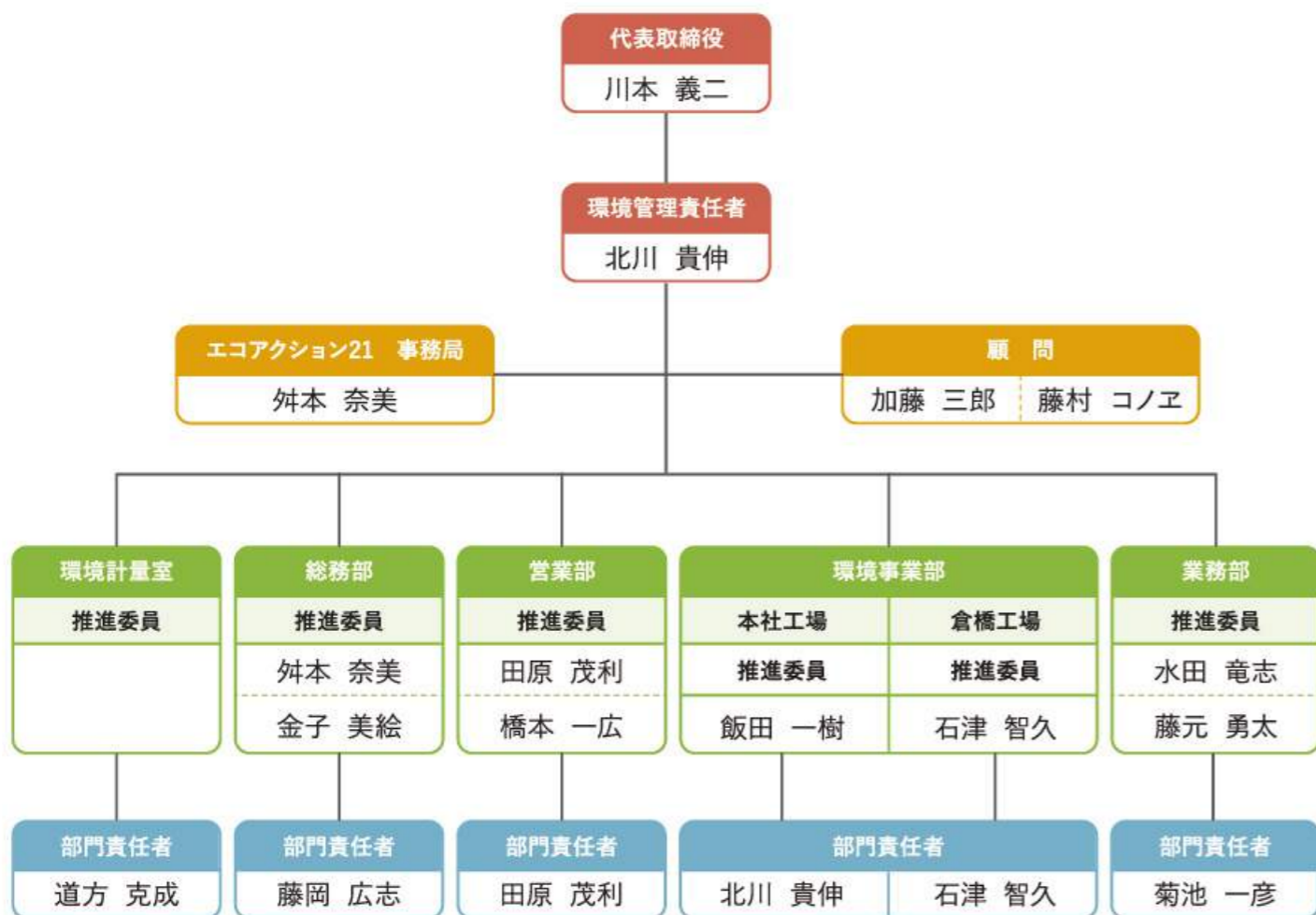
制定 2009年10月1日  
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ  
代表取締役

川本 義二

# 03 推進体制並びに責任と権限

① 推進体制 当社はエコアクション21(EA21)推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。



## ② 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	① 環境方針の策定と全従業員への周知 ② 環境管理責任者の任命 ③ 運用に必要な人材、設備、費用、時間の準備 ④ 全体の取組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	① 環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ② 環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	① エコアクション21事務局の総括 ② 一般教育の計画、実施 ③ 環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	① 環境データの集計、取りまとめ ② 環境関連文書及び記録の管理 ③ 外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	① 各部門における環境活動の管理 ② 環境活動実績の把握と事務局への報告
部門責任者	① 自部門の環境活動の責任者 ② 実務教育・訓練(専門教育)の計画、実施
全従業員	① 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

# 04 環境負荷の実績と考察 47期～51期(2013年～2018年)

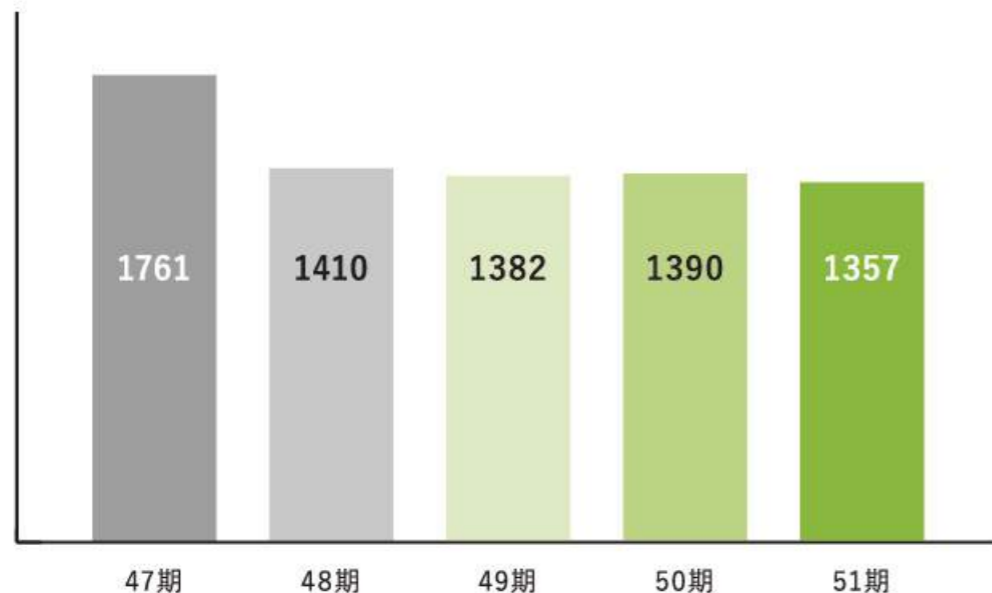
## ① 実績

	単位	47期	48期	49期	50期	51期	排出係数	51期CO <sub>2</sub> 排出量	
二酸化炭素等総排出量	電力(本社工場・倉橋工場)	kWh	798,651	664,915	727,601	736,105	729,526	* 0.694	507
		前年対比%	10%▲	17%▼	9%▲	1%▲	1%▼		6.6%▼
	電力(事務所・休憩所・きなり村)	kWh	223,976	232,210	84,631	82,293	94,604	* 0.694	66
		前年対比%	8%▲	4%▲	64%▼	3%▼	15%▲		8.2%▲
	灯油	ℓ	745	745	-	-	-	0.0679	
		前年対比%	74%▼	増減なし	-	-	-		
	A重油	ℓ	221,066	116,088	137,450	137,378	131,705	0.0693	357
		前年対比%	23%▼	47%▼	18%▲	0.1%▼	4%▼		4.0%▼
	低硫黄重油	ℓ	1,375	-	-	-	-	0.0513	
		前年対比%	87%▼	-	-	-	-		
LPG	kg	529	492	699	664	692	0.0598	2	
	前年対比%	11%▲	7%▼	42%▲	5%▼	4%▲		増減なし	
ガソリン	ℓ	17,069	16,495	11,967	11,841	11,720	0.0671	27	
	前年対比%	2%▲	3%▼	28%▼	1.1%▼	1%▼		増減なし	
軽油	ℓ	137,595	133,797	145,220	146,897	151,770	0.0687	398	
	前年対比%	4%▼	3%▼	9%▲	1.2%▲	3%▲		3.1%▲	
合計	t-CO <sub>2</sub>	1,761	1,410	1,382	1,390	1,357		1,357	
	前年対比%	12%▲	20%▼	2%▼	0.6%▲	2.4%▼		2.4%▼	
総排水量(事務所・倉橋工場)	m <sup>3</sup>	1,381	1,419	1,533	1,461	1,378			
	前年対比%	130%▲	2%▲	8%▲	5%▼	6%▼			
廃棄物排出量	t	4,798	6,978	5,741	5,367	5,697			
	前年対比%	16%▲	45%▲	18%▼	7%▼	6%▲			

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×単位発熱量を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と51期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※環境省2014年公表電力事業者別CO<sub>2</sub>排出係数は、中国電力0.719kg-CO<sub>2</sub>/kWhですが、前年との比較と経過観察のため、47期～50期までは環境省2013年公表電気事業者別CO<sub>2</sub>排出係数(中国電力0.738kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用。51期～53期は最新排出係数(中国電力0.694kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用します。

二酸化炭素総排出量 t-CO<sub>2</sub>



2 考察

CO<sub>2</sub>総排出量は、50期と比較して33t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。要因として、51期から電力排出係数を見直しをしたことにより、31t-CO<sub>2</sub>減少となりました。また、本社工場ロータリーキルン炉の稼働の減少に伴うA重油使用量が減り17t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。また、倉橋工場の軽油使用量が減り4t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。しかし、その他の取組みでは50期に比べ、業務部は20t-CO<sub>2</sub>、本社事務所は1t-CO<sub>2</sub>、営業部は2t-CO<sub>2</sub>の増加となりました。

今後本社工場は、回転炉床のA重油・電力使用量は横這いですが、PDCAを繰り返し改善点を見つけることで、少量でも削減できるように取組んでいきます。また、設備の不具合による稼働ロスを減らすための対策を数年単位で計画し実行します。

倉橋工場は、ここ数年の地道な取組みが結果として表れていますので、今後も継続していき52期計画予定の発酵槽の送風設備の改修による効果を検証し今後の取組みに生かしていきます。

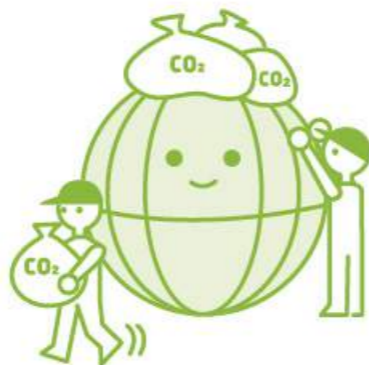
業務部は、収集ルートの検証と見直しを行い、部署内で共有して削減に努めます。

本社事務所は、照明のLED化を早急に取組み電力使用量の削減に努めます。

営業部は、営業活動により燃料使用量が左右されますが、基本に立ち回りアイドルストップ等による削減に努めます。

取組みを継続していく中で大幅な削減は難しくなっていますが、PDCAを繰り返すことで改善点を抽出し実行して、CO<sub>2</sub>排出量を少しでも削減していきます。

また、バリ協定発効による温室効果ガス規制を注意深く観察しつつ、情報を収集して時代の変化に速やかに対応できる体制づくりに努めます。



05 51期の環境活動計画と中期環境目標

1 51期の環境活動計画

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取組み	環境力道場での社員教育	基本的な環境問題の講義	通年	全社員
		部署内の課題を抽出し、解決する 部署ごとに3ヶ年計画を策定する		
環境	(1)回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2)業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 管理体制の強化	通年	業務部
	(3)営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4)重機の軽油使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年	倉橋工場
	(5)事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
	(6)ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(7)場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場
	(8)施設の改善	保管場所の整備 老朽設備の更新	通年	本社工場 倉橋工場
	(9)在庫管理の強化	処理スケジュール作成による管理と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(10)緊急事態(自然災害)への対応	自然災害へのリスク調査(中期計画)	通年	本社工場 倉橋工場
	(11)各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
	(12)燃え殻・污泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(13)環境活動レポートの作成	11月初旬に50期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー
コミュニケーション	(1)ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2)情報の共有化	新システム導入によるスケジュール管理	通年	営業部
	(3)社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝する 永年勤続者の表彰	通年	総務部
	(4)家族とのつながり	社内報の内容を充実させる 家族会の企画・実施	年2回 6月	営業部 総務部
	(5)ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(6)仕事の共有と効率化	経営企画会議の開催	年6回	各部門長
	(7)見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
	(8)積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部
教育	(1)自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2)資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3)知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
安全衛生	(1)1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部
	(2)交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3)飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用(基準値0mg)	通年	業務部
	(4)5S活動の推進(整理・整頓・清掃・清潔・躰)	毎週金曜日の清掃活動	通年	全部署
	(5)安全衛生協議	月次報告会内に設置	月/1回	EA21事務局

## ② 中期環境目標

取組み事項		51期 (2017年10月 ~2018年9月)	52期 (2018年10月 ~2019年9月)	53期 (2019年10月 ~2020年9月)
全体	CO <sub>2</sub> 総排出量(基準年48期~50期平均)	1,337	1,324	1,310
	CO <sub>2</sub> 排出量の削減(基準年48期~50期平均)	1%削減	1%削減	1%削減
本社工場	回転炉床A重油使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	191.5	189.6	188.6
	回転炉床A重油使用量の削減(ℓ)	70,675	69,973	69,604
	ロータリーキルンA重油使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	169.4	169.1	168.8
	ロータリーキルンA重油使用量の削減(ℓ)	62,518	62,408	62,297
	回転炉床電力使用CO <sub>2</sub> の削減(t-CO <sub>2</sub> )	229.4	229.2	228.9
	回転炉床電力使用量の削減(kWh)	330,548	330,259	329,827
	業務部	業務車両CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	251.6	249.1
営業部	営業車両CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	17.4	17.2	17.0
	営業車両ガソリン使用量の削減(ℓ)	7,495	7,408	7,322
事務所	電力使用CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	39.7	39.3	38.9
	電力使用量の削減(kWh)	57,205	56,628	56,052
倉橋工場	軽油使用の総排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	77.6	76.8	76.0
	軽油使用量の削減(ℓ)	29,570	29,265	28,960
	電力使用CO <sub>2</sub> 排出量の削減(t-CO <sub>2</sub> )	155.4	153.8	152.3
	電力使用量の削減(kWh)	223,919	221,614	219,452

※基準年を48期から50期の過去3年の平均値を基に設定しています。  
 ※50期以降の電力CO<sub>2</sub>削減量目標値は、排出係数0.694kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。(中国電力公表値)  
 ※3年ごとに最新の電力排出係数の見直しをしていきます。  
 ※目標に対する実績が未達成の場合、その実績値を元に見直しを検討します。



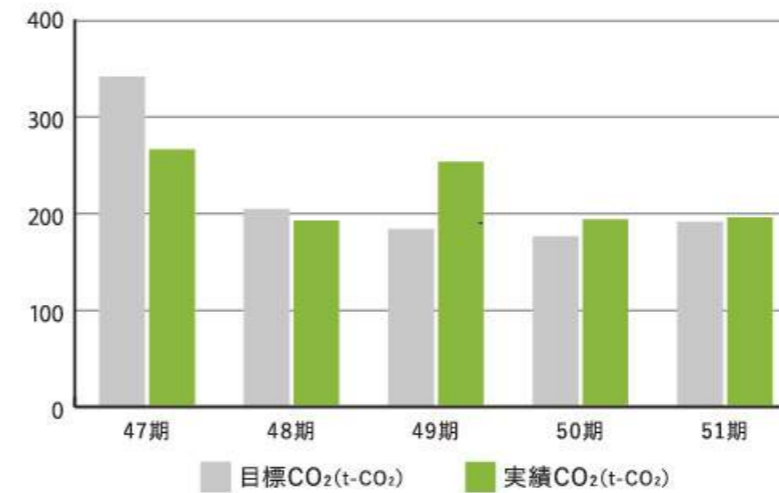
# 06

## 各部署51期の取組みと実績・評価

5-①の計画(P.8)に沿って取組みと実績を報告します。

### ① 本社工場の取組み 》 1) CO<sub>2</sub>の削減など

回転炉床 A重油使用量



CO <sub>2</sub> 排出量 回転炉床式焼却炉 A重油	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率 2.5%増加
	t-CO <sub>2</sub>	191.5	196.2	
ℓ	70,675	72,414		

#### 取組み

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 昨年に引き続き、毎月の個人別目標達成表を掲示して、焼却炉運転管理者の意識向上に努めました。
- 廃棄物焼却時のカロリーコントロールをしてロスの無い温度管理に努めました。

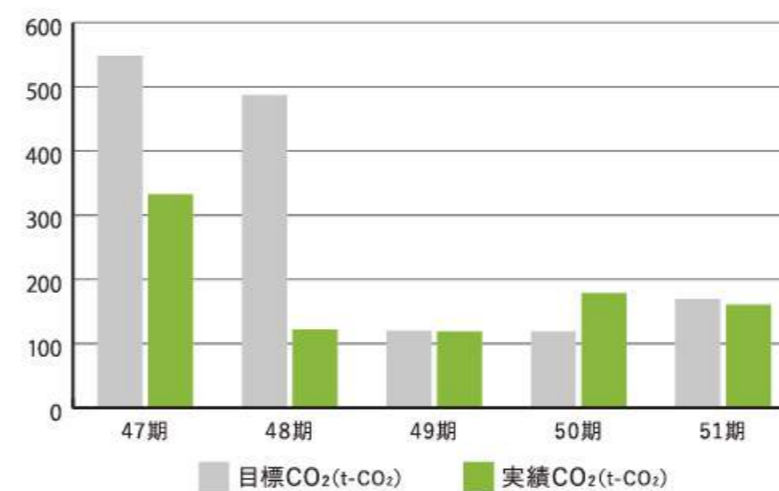
#### 実績・評価

- 目標191.5t-CO<sub>2</sub>に対して実績196.2t-CO<sub>2</sub>と目標達成に至りませんでした。
- 焼却炉管理者が一日の品種別処理目標を決めて運転管理することで意識の向上に努めましたが、CO<sub>2</sub>削減には結び付きませんでした。
- 高カロリーの廃油を助燃料として投入していましたが投入に偏りがあり効率良い温度管理ができませんでした。

#### 今後

- 廃油の投入方法を今一度見直し、廃棄物による温度管理を徹底してA重油の削減に努めます。

ロータリーキルン A重油使用量



CO <sub>2</sub> 排出量 ロータリーキルン炉 A重油	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率 5.1%削減
	t-CO <sub>2</sub>	169.4	160.7	
ℓ	62,518	59,291		

#### 取組み

- 毎回の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 運転管理方法の見直しを行い、より効率的な処理を心がけました。

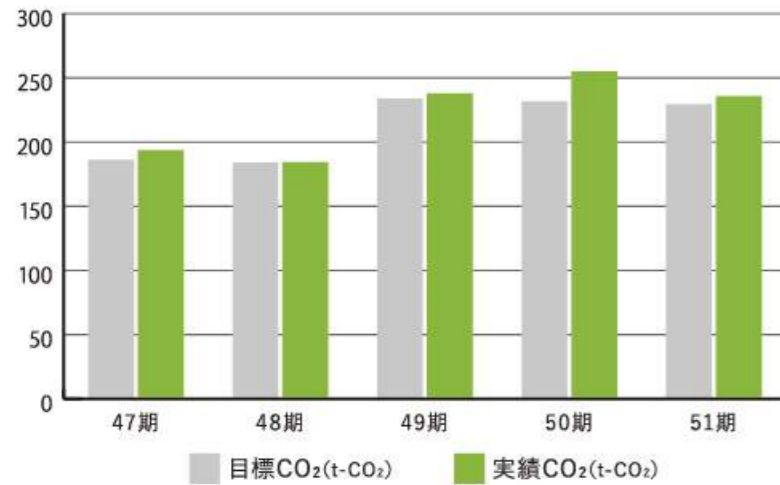
#### 実績・評価

- 目標169.4t-CO<sub>2</sub>に対して、実績160.7t-CO<sub>2</sub>と目標を達成することができました。
- 搬入量減による施設の稼働回数が減ったことで、昨年より17.6t-CO<sub>2</sub>排出量が削減しました。しかし、設備不良によるトラブルが幾度かあり、緊急停止によるロスも生じた重油使用がありました。

#### 今後

- 設備のメンテや日常点検の見直しで、緊急停止等のトラブルをなくして稼働することで削減に努めます。

回転炉床 電力使用量



CO <sub>2</sub> 排出量 回転炉床 電力	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率 2.7%増加
	t-CO <sub>2</sub>	229.4	235.6	
	kWh	330,548	339,434	

取組み

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 電力の消費を抑えるため、設備更新時には省エネモーターに切替ました。
- 電力の削減と安全のため、老朽化したキュービクルを更新しました。

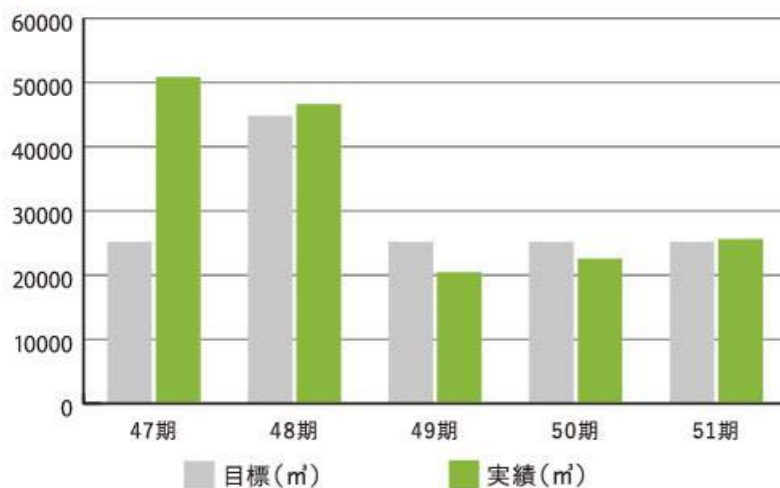
実績・評価

- 目標229.4t-CO<sub>2</sub>に対して実績235.6t-CO<sub>2</sub>と目標達成には至りませんでした。
- 設備更新時に省エネモーターに更新しましたが、まだ多くの機器で省エネ使用になっていないので、目に見える結果には至りませんでした。今後も機器の更新時には省エネ品を選定していきます。
- 夏場の熱中症対策のため、扇風機を増やしたことも電力使用量の増加になりました。

今後

- LED化できていない照明の更新や、ミストによる熱中症対策等で使用量を抑制して目標達成を目指します。

回転炉床 用水使用量



回転炉床 用水	単位	目標	実績	削減率 1.6%増加
	m³	25,200	25,608	

取組み

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。

実績・評価

- 目標25,200m³に対して25,608m³と目標を達成することができませんでした。
- 環境配慮のために、回転炉床の立上げ、立下げに排ガス洗浄装置(スクラパー)の水噴霧時間を長くしたことで増加しました。

今後

- 場内全般の更なる節水への意識付けと雨水の使用を推進し、目標達成を目指します。

ここ数年、回転炉床A重油使用量の削減は頭打ちになりつつありますが、廃棄物による温度管理の方法を見直し、少しでも削減に努めていきます。回転炉床・ロータリーキルンの両焼却炉の老朽化が激しく、

トラブル回数が増えてきていますので、設備更新計画を立て数年単位で更新していき、トラブル等によるエネルギーロスを減らすことでCO<sub>2</sub>削減に努めていきます。



本社工場 北川部長

①本社工場の取組み ②環境コミュニケーションなど

取組み

- 施設の改善では、廃棄物飛散防止の観点から、破砕後の廃プラスチック置き場に飛散防止防護ネットを新設しました。
- 在庫管理の強化では、搬入・処理スケジュールを作成し、実行しました。
- 各環境測定の実施では、51期もダイオキシン測定など各環境測定をスケジュール通り実施しました。
- 1年間無事故無災害では、指差し確認の徹底と啓発を継続的に実行しました。

実績・評価

- 廃棄物の飛散防止では、飛散防止防護ネットを新設し、鳥や風による廃棄物飛散防止対策を行った結果、飛散が大きく改善しましたが、小さなスキマから出入りする鳥を見かけますので、ネットを改善し、飛散防止に努めます。
- 在庫管理の強化は、スケジュールをしっかりと打ち合わせすることで、廃棄物が滞ることがなくなり、大きな成果がありました。
- 1年間無事故無災害では、毎日の危険予知活動の継続と、終礼時のカンサイ理念手帳の読み上げで注意喚起を呼びかけ、1年間無事故無災害を達成することができました。
- 搬入車両と歩行者との接触事故防止のため、定期的に歩道ラインを修復して、事故防止に努めました。
- 施設整備では、老朽化していたキュービクルを新設して、当社の漏電事故による本社周辺施設一体に、停電が生じないように対策をしました。

今後

- 設備の改善は、老朽化した設備の改修・更新に引き続き取り組んでいきます。
- 在庫管理は、年々、改善できています。今後も他部署との情報共有や搬入物のスケジュール管理をして、在庫の適正管理に努めていきます。
- 夏場の猛暑による熱中症対策にも引き続き、取り組んでいき、労働災害の防止に努めます。



1 飛散防止用防護ネット 2 土間コンクリート整地状況 3 新設キュービクル

51期は、飛散の酷かった廃プラスチック置き場に飛散防止防護ネットを設置し、大きく成果を挙げる事ができました。ただし、まだ飛散は見受けられますので引き続き改良・改善に取り組みます。また、他の老朽化した設備の修繕も優先順位をつけて、段階的に取組みたいと思います。

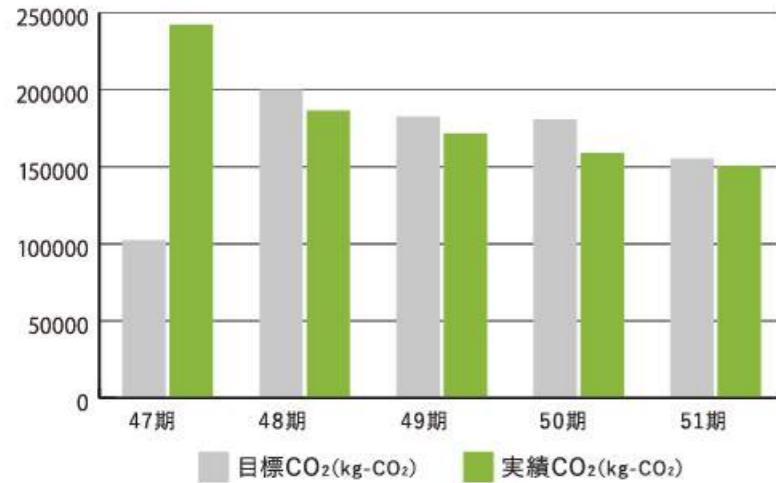
他では、本社工場では、来期中に無災害1000日を達成できるところまでできていますので、(2018年9月10日現在819日)今後も作業員が安心して安全に働くことができるように、職場環境の改善に努めていきたいと思ひます。



本社工場 飯田課長

## 》 倉橋工場の取組み 》 1) CO<sub>2</sub>の削減など

### 倉橋工場 電力使用量



#### 取組み

●送風機の適切な風量管理および節電のため、試験的に新たな送風機およびインバータ制御装置を導入しました。

#### 実績・評価

●155,400kg-CO<sub>2</sub>に対して150,676kg-CO<sub>2</sub>と目標を達成できました。

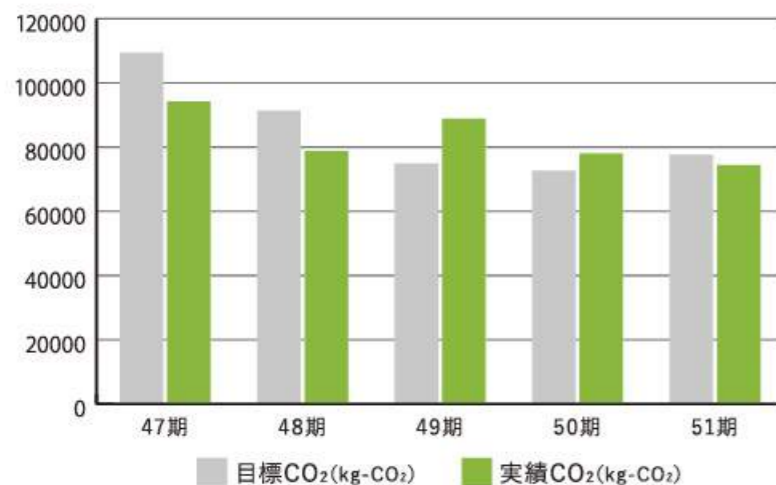
●目標は達成できたものの、①発酵状況の改善を優先するため一年を通して送風機をフル稼働させたこと、そして、②インバータの導入時期が年度末、且つ試験的規模(1槽分のみ)であったことにより、50期実績と比べると微増となりました。

#### 今後

●試験的に導入した送風機およびインバータ制御装置から好結果が得られているので、52期以降段階的に従来の設備から切替えていきます。

CO <sub>2</sub> 排出量 電力	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
	kg-CO <sub>2</sub>	155,400	150,676	
kWh	223,919	217,112		

### 倉橋工場 軽油使用量



#### 取組み

●季節によって変化する発酵状況に応じて作業計画を立て、重機の稼働時間の削減に努めました。

●肥料在庫量と販売予測を細目に確認し、作業計画を随時修正することで極力無駄な作業が発生しないように努めました。

#### 実績・評価

●77,602kg-CO<sub>2</sub>に対して、74,432kg-CO<sub>2</sub>と目標を達成できました。

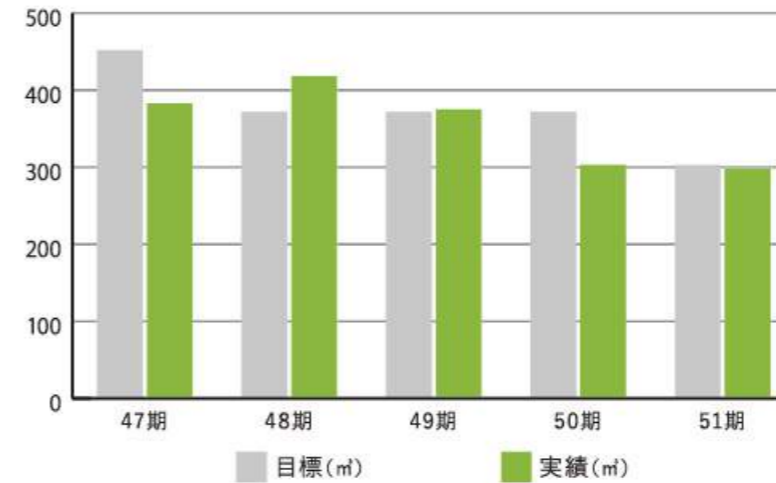
●取組みとしては、特に50期と変わったことをしたわけではありませんが、地道にPDCAを繰り返してきたことで、日々の積み重ねが今回の結果に結びつきました。

#### 今後

●これまでの取組みを継続していくとともに、更なる軽油使用量の削減に繋がるとされる冬の発酵状況の改善に取り組んでいきます。

CO <sub>2</sub> 排出量 軽油	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率	
	kg-CO <sub>2</sub>	77,602	74,432		4.1%削減
	ℓ	29,570	28,363		

### 倉橋工場 水道水使用量



#### 取組み

●車両、重機の美化と節水が両立できるよう拭き掃除メインの洗車方法に取組みました。

●洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力をお願いかけました。

#### 実績・評価

●目標303m<sup>3</sup>に対して、298m<sup>3</sup>と目標を達成できました。

●平成30年7月豪雨により約2週間断水したため、結果的に使用量が少なくなりました。

●上記の減少分を除けば、前年度とほぼ同程度の使用量でした。

#### 今後

●社内ではこれまでの取組みを継続し、搬入業者様へは粘り強く節水を呼び掛けていきます。

水道水	単位	目標	実績	削減率
	m <sup>3</sup>	303	298	1.7%削減

## 》 肥料(スーパーカイド)について

倉橋工場で製造した肥料(スーパーカイド)は、多くの社員が自宅の庭やベランダ、畑などで使用し、家庭菜園やガーデニングを楽しんでいます。

スーパーカイドには、植物が必要とする三大要素の中のリン酸が特に多く含まれています。リン酸は花や実、根の成長に必要不可欠で、「実肥(みごえ)」といわれており、花や果菜類、根菜類を育てるのに適しています。

右の写真は社員の自宅花壇の様子です。このように肥料の効果で綺麗な花を咲かせています。私達社員も、宣伝効果が期待できるような家庭菜園やガーデニングを目指したいと思います。

#### 肥料お求めはこちらまで

TEL:(082)941-1641 カンサイ総務部

TEL:(0823)53-1823 カンサイ倉橋工場



ガーデニングの様子

51期は結果の数字だけを見ると全体的に少し改善された程度でしたが、内容としては、発酵槽の送風システムの見直しを行ったことで、徐々に行き詰まり感のあった様々な課題において改善の余地が見えてきたように思います。

52期は、更なるインバータ装置の導入により大幅な節電効果が期待されますが、この一つの改善をどこまで他の課題解決へ結びつけることができるか、しっかり検討、実行していきたいと思っています。



倉橋工場 石津工場長



## 》②倉橋工場の取組み》2)環境コミュニケーションなど

### 取組み

- 施設の改善として、老朽化して雨漏りしていた建屋の屋根を改修しました。
- 重機の軽油使用量の削減としては、走行距離40万キロオーバーの配達車両を新車に入れ替えました。
- 1年間無事故無災害への取組みとしては、毎朝の危険予知活動の継続と、ヒヤリハットなどの報連相の徹底を呼びかけました。

### 実績・評価

- 屋根を改修したことで雨漏りがなくなっただけでなく、建屋内が明るくなり作業性が改善されました。
- 肥料の配達車両として新車を導入したことで燃費が改善し、両側スライドドアになったことにより作業性も改善されました。
- 危険予知活動が定着し、ヒヤリハットの報連相も各従業員が積極的に行うようになってきたことで1年間無事故無災害を達成できました。

### 今後

- 引き続き安全に配慮した施設の改善、作業工程の見直しをして、効率化を進めていきます。
- 猛暑を含む自然災害対策の取組みを今まで以上に強化していきます。



1 貯留槽の屋根を改修 2 低燃費の新車を導入

## 》「環境の日」ひろしま大会

毎年6月に広島市中区の広島県庁前広場で開催されている「環境の日」ひろしま大会では、6月の環境月間行事の一環として、環境活動の展示やエコ体験など環境について楽しく学べる様々なイベントが行われています。

カンサイは、そこで毎年肥料のサンプルを配布しています。

肥料を買いに来られるお客様の中には、「環境の日でもらった肥料が良かったから買いたい」という方もいらっしゃいます。

このようなイベントに積極的に参加して、コンポスト化や汚泥肥料の認知度を上げ、利用者が増えるようにこれからも活動を続けていきます。



「環境の日」ひろしま大会



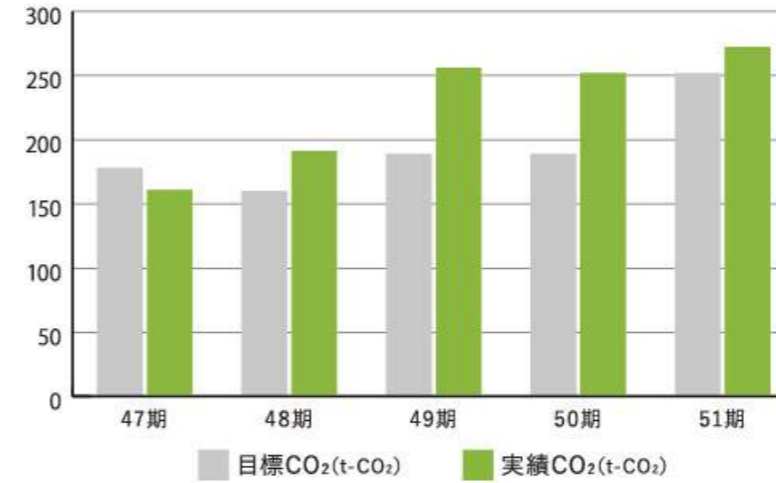
倉橋工場 細川主任

今回は、建屋の屋根の改修や配達車両の入れ替えなどで作業性が改善され、従業員の作業性や安全対策への意識も向上しました。これからも安全に配慮した施設の

改修、補修、自然災害対策などに取組んでいきたいと思っています。

## 》③業務部の取組み》1)CO<sub>2</sub>の削減など

### 業務車両 燃料使用量



新3tアームロール車

### 取組み

- 新たに大型車1台、3t車2台を更新しました。
- 毎月の軽油、ガソリンの使用量を集計し、把握しました。
- 毎月の走行距離、特殊車両はアワメーターを集計し、適正期間にオイル交換、グリスアップを実施しました。

### 実績・評価

- 目標251.6 t-CO<sub>2</sub>に対し、272.0 t-CO<sub>2</sub>と8.1%増加し、目標達成には至りませんでした。
  - 50期同様、特殊車両での収集、作業が増加し、走行距離、使用時間が増えたため、軽油の使用量が増加したのが要因です。使用量を見比べると年々増加傾向にありますが、お客様のニーズに応えてきた結果でもあり、大変悩ましいところです。
- また、夏場の熱中症対策として、エアコンの使用を推進したため、燃費も伸びませんでした。

### 今後

- 51期同様、定期的なエンジンオイル交換を実施して燃費の向上・故障の防止に努めます。
- 特殊車両においては、アワメーターの管理を引き続き行い、グリスアップ・オーバーホール等のメンテナンスを充実させていきたいと思っています。
- 月1回の会議の際に、使用量・燃費の情報を共有し、削減のために何が必要かを皆で考え実行したいと思っています。

CO <sub>2</sub> 排出量 業務車両 燃費		単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率	評価
			251.6	272.0	8.1%増加	
	年間総排出量	t-CO <sub>2</sub>	251.6	272.0	8.1%増加	
	10t車両	km/l	2.9	2.9	増減なし	-
	4t車両	km/l	5.5	5.3	2.8%低下	×
	2t車両	km/l	6.7	6.4	4.5%低下	×
	ガソリン車両	km/l	15.8	12.9	1.8%低下	×

51期は、50期同様修繕費用削減に重点をおいて取組みました。そのため、車両の異常を早期に発見する必要があります。社員にも、早期発見の意識は根付きつつ

あり、ちょっとおかしいという報告も随時上がってきています。また、新入社員も増えていきますので、業務部の取組みを理解してもらい今後に繋げていきたいと思っています。



業務部 水田課長

### 》 ③業務部の取組み 》 2)環境コミュニケーションなど

#### 取組み

- 一年間無事故・無災害では、毎朝の業務ミーティング時に本日の危険ポイントの確認と共に、51期では前日各自が業務について気が付いたことをヒアリングし、部内で共有する取組みを行いました。
- 車両美化の徹底では、車内美化に注力し、呼びかけを行いました。
- 飲酒運転禁止では、例年どおり業務前のアルコールチェックを徹底しました。
- 作業環境の見直し・改善では、夏期の熱中症対策として空調服を導入しました。

#### 実績・評価

- 51期は労働災害、物損事故が発生せず、一年間無事故・無災害でした。今後も継続していけるように努めます。
- アルコールチェックでは51期も検出者0人でした。これも無事故につながった要因の一つでもあります。



空調服の導入

#### 今後

- 引き続き駆動部のグリスアップ、走行距離管理によるエンジンオイル交換を行い、故障を未然に防ぐ取組みをしていきます。
- 毎月一回業務会議を開き、業務に関する様々なことを共有し改善に繋げていきます。
- 52期の車両美化は51期に引き続き車内に注力していきます。
- 熱中症対策を充実させるため、作業服の見直しや、作業環境改善を行い、夏場に少しでも集中力を保ち、災害防止につながるよう努めたいと思います。



### 》 ③業務部の取組み 》 3)建設工事件数等

活動規模	単位	51期
工事の件数	件	12
売上高	千円	70,841

工事日報に現場での環境への取組みを記入する欄を設け、休憩時のこまめな節電等、日々環境負荷軽減について意識するようになりました。



50期のレポートでは、清掃や修繕等が特に指示がなくても各自気づいたところは各自で動けるようにしたいと書いたのですが、少しずつ近づいているのではないかと感じました。この点を新人が見習っていけるような環境づくりを行いたいと思います。

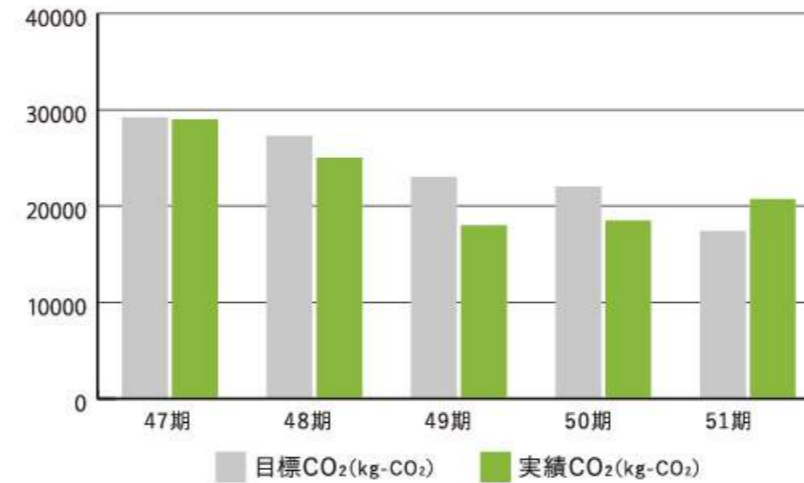
52期では毎月一回業務会議を開き、問題点の解消や業務についての勉強会など、部内コミュニケーションに力を入れ、さらなる高みを目指していきます。



業務部 藤元係長

### 》 ④営業部の取組み 》 1)CO<sub>2</sub>の削減など

#### 営業車両 燃料使用量



#### 取組み

- エコ運転の徹底と、車両美化に努めました。
- 50期末に1台、51期初めに2台新車に代替しました。

#### 実績・評価

- 目標17,400kg-CO<sub>2</sub>に対して、20,725kg-CO<sub>2</sub>となり19%増加しました。
- 今期は車両修理による代車期間が無く全車順調に稼働したため総給油量が19%増加しました。
- 平均燃費は目標16.5km/ℓに対し実績16.3km/ℓとなり0.3km/ℓのマイナスでした。

CO <sub>2</sub> 排出量 ガソリン	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
	kg-CO <sub>2</sub>	17,400	20,725	19%増加
ℓ	7,495	8,927		

#### 今後

- 週間行動計画によるさらなる営業活動の効率化と、エコ運転の徹底でCO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。



1 車両清掃の様子 2 新車の入替え

事前に週間行動計画を作成し無駄のない営業活動を心がけると共に、アイドリングストップや車間距離を広めにとるなどのエコ運転を実施しましたが、営業車による産業廃棄物収集の増加や夏の猛暑でエアコン使用頻度が増加

したことにより、CO<sub>2</sub>排出量、平均燃費共に目標を下回りました。52期は週間行動計画の更なる充実を図り、より効率的な営業活動に取組みます。また、車両美化の徹底で愛車精神を育み、交通事故防止とエコ運転に務めます。



営業部 橋本次長

## 》 ④営業部の取組み 》 2)環境コミュニケーションなど

### 取組み

- 社員、家族とのつながりでは、年2回社内報「春夏秋冬」を発行し、社員の各家庭に郵送しました。
- ステークホルダーとのつながりの拡充では、10月にひろしま地球環境フォーラム主催のクリーン&サンフレッチェ参加に参加しました。
- 毎月第一金曜日に、周辺道路清掃奉仕活動を実施しました。

### 実績・評価

- 社内報は今期で5期目と継続的に発行し、会社としての取組みや日々の仕事のこと、また、ご家族の方にも読んでいただきやすいよう、地域の情報等を載せるなどの工夫をしました。
- クリーン&サンフレッチェでは、社外の人と一緒にエディオンスタジアム周辺の清掃活動を行い、その後サンフレッチェの試合を観戦しました。他部署からも参加してもらい、地域社会貢献を通して環境に対する意識や知識を高め、地元サッカーチームを参加者全員で応援して、社内外問わず交流をより深めることができました。

### 今 後

- 今後も年2回社内報「春夏秋冬」を発行し、会社全体での取組みや、社員の表情などを分かりやすく発信したいと思います。
- ステークホルダーとのコミュニケーションを目的とした地域イベントに年1~2回積極的に参加します。
- 今後も月に一度会社周辺道路を清掃し、地域環境美化に貢献していきたいと思っています。



2018年の抱負  
社員旅行 富山口・松山温泉  
カンサイ新シンボルマーク完成

社内報「春夏秋冬」



1 クリーン&サンフレッチェでの清掃活動 2 清掃活動の様子



年2回発行の社内報では、家族の方に会社のことを知ってもらうことで親しみをもってもらえるように作成しています。また、マンネリ化にならないよう何度も企画会議を行い、ご家族の方に読みたいと思われるよう内容を

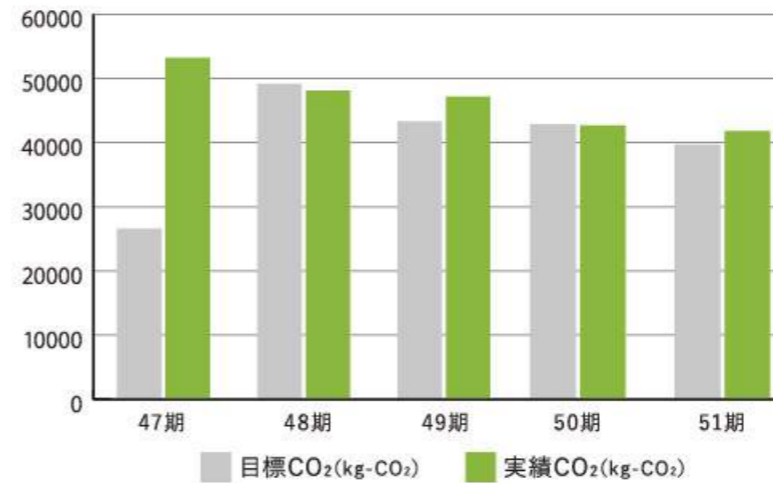
充実させていきます。清掃活動では、ジ・アウトレット広島がオープンしたことで活動範囲を広げ、地域の環境美化に貢献することで環境意識を部署全体で深めています。



営業部 福原係長

## 》 ⑤総務部の取組み 》 1)CO<sub>2</sub>の削減など

### 事務所 電力使用量



CO <sub>2</sub> 排出量 電力	単位	目標	実績	CO <sub>2</sub> 削減率
	kg-CO <sub>2</sub>	39,700	41,789	5.3%増加
kWh	57,205	60,214		

### 取組み

- 編集室のエアコンを、古い型式(約20年前購入)から最新の省エネタイプに買い替えました。

### 実績・評価

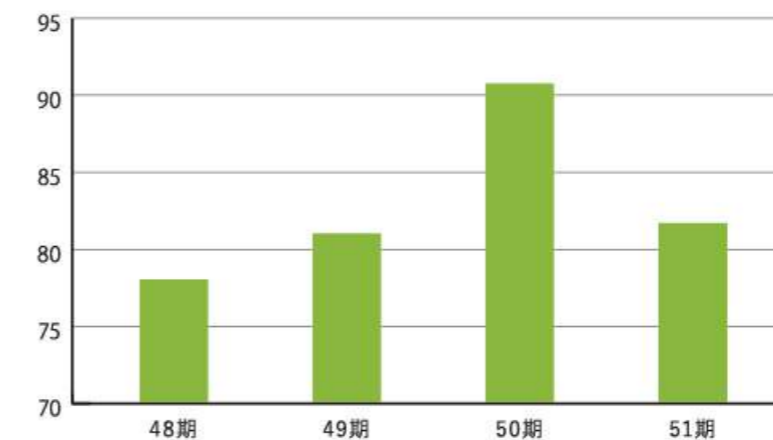
- 目標39,700kg-CO<sub>2</sub>に対して、41,789kg-CO<sub>2</sub>と目標を達成できませんでした。夏場の猛暑と冬場の厳寒の影響で、エアコン使用量が増加したことが原因と考えられます。エアコン使用量は50期より4,214kWh(2,925kg-CO<sub>2</sub>)と増加しましたが、エアコンの更新やこまめな節電により最小限の増加に抑えられました。

### 今 後

- こまめな節電とエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行い、52期はLED照明の導入を本格的に検討するなど、さらなる削減のために取組んでいきたいと思っています。

## 》 ⑤総務部の取組み 》 2)グリーン購入

### グリーン購入率(%)



### 取組み

- 環境対応商品を優先して購入してもらうために、啓発活動を行い社員へ意識付けました。

### 実績・評価

- 50期は90.76%に対して、51期は81.70%と購入率が低下しました。
- 繁忙期など時間がない時に、いつも利用しているオフィス用品の通販カタログに購入したい物の環境対応商品がない場合、カタログ以外で調査を行わず、除外品をそのまま購入していたことが原因と考えられます。

### 今 後

- 購入する際は、適合品がないかカタログ以外でも調査ができるように、時間に余裕を持って行動し、購入率向上を目指したいと思います。

51期は事務所の電力使用量は目標を達成できませんでしたが、編集室のエアコンを省エネ型に買い替えたことで猛暑にもかかわらず増加を最小限に止めることができました。地球温暖化問題は深刻さを増していますので、エアコン

使用量は年々増加してしまうかもしれませんが、LED照明の導入について本格的に検討するなど、他の部分での削減に努めます。今後は総務部として災害時の適応策についても考えていきたいと思っています。



総務部 剣本

## 》 ⑤事務所の取組み 》 3)環境コミュニケーションなど

### 取組み

- 社員のつながりでは、49期から始めた『永年勤続者の表彰』を年1回行い、47期から継続している『誕生日にあたる社員のお祝い』を毎月初の全体朝礼で行い、誕生日には一斉メール配信を行いました。
- 家族とのつながりでは、51期も社員の家族を招いて『家族会』を企画しました。
- 積極的な情報公開では、ホームページ内の社員ブログを定期的に更新しました。
- 接遇の向上と実務に関する知識を深める取組みでは個々において各研修会や説明会に参加しました。

### 実績・評価

- 全体朝礼の場で『永年勤続表彰』を行い、10名のお祝いをしました。受賞した社員から永く仕事に携わってきた日々の思いをコメントしてもらうことで他の社員と気持ちを共有しました。また、『誕生日のお祝い』で社員同士がお祝いの言葉を掛け合い明るい輪が広がり、社員の働く意欲・やりがいにつながる取組みができました。
- 『家族会』を7月上旬に企画していましたが「平成30年7月豪雨」により中止しました。
- ホームページ内の社員ブログでは、仕事に関する記事や研修レポートだけでなく、プライベートな話や日々の出来事など幅広い内容の記事を掲載していきました。ホームページを見てくださった方がよりカンサイを身近に感じていただける手段の一つとして社員ブログを充実させました。
- 法律事務所が主催する雇用に関する勉強会やストレスチェック・メンタルヘルスの勉強会、その他実務に関する説明会などに参加しスキルアップに繋がりました。

### 今後

- 『誕生日のお祝い』『永年勤続者の表彰』は52期も継続して行い、社員・家族とのつながりを大切にするとともに、やりがいのある、働きやすくて明るい職場づくりに貢献していきたいと思ひます。内部コミュニケーションの充実を図ることで、社員個人間だけでなく各部署間の絆を深め、連携の取れた企業の一役を担っていききたいと思ひます。



1 誕生日の社員コメント(社内掲示版) 2 永年勤続表彰の様子  
3 ホームページ内 社員ブログ

今回で4回目となるはずの『家族会』は中四国に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」が発生したため、あえなく中止となりました。企画・準備を進めてきた総務部としては残念に思いますが、多くの方が災害の犠牲になり、今も被災された方々が不自由な毎日を送っていることを思うと大変心が痛みます。幸いなことにカンサイ

社員にはこの災害による直接的被害を受けた人はいなかったようですが、改めて自然の脅威を感じ、このような災害も地球温暖化が招いた事象のひとつと捉え、私たちを取り巻く環境について真摯に向き合わなければならないと感じました。



総務部 吉村

## 》 ⑥環境計量室の取組み 》 1)環境分析

### 取組み

- 本社屋周辺の土壌及び地下水が汚染されていないか調査するため、年3回、観測井戸からサンプリングを行い分析を行いました。
- 本社屋合併浄化槽水質調査(年4回)と、浄化槽機能定期検査(年1回)を実施しました。
- 本社工場内の排水処理は自主基準を設け、有害項目も含めて38項目(年4回)の分析を行いました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻に環境を汚染する可能性がある有害物質がないか毎月分析を実施しました。
- 太陽光発電を利用した省エネルギーで稼働可能な浄化槽システムのデータ収集を行いました。
- 分析技術向上のため、内部精度管理と日本環境測定分析協会及び環境省主催の外部精度管理に参加しました。
- 分析機器の操作マニュアルを作成しました。

### 実績・評価

- 工場、本社屋共に有害物質の検出はありませんでした。
- 部署内の教育と内部、外部精度管理を通して社員全体のレベルアップを行いました。
- 環境計量室内の薬品管理のため、劇毒物の在庫管理を毎月行いました。
- 新入社員の教育に操作マニュアルを活用することでスムーズな業務の引継ぎができました。

### 今後

- 室員一人ひとりがより多くの測定項目を扱えるようになることを目標に、日々技術の向上に取り組んでいきます。
- 機械の更新や法令の改正等に合わせて操作マニュアルの見直しを適宜行い、状況に即した内容に更新していきます。



コード	工程名	作業名	作成者
1AA-6800		立ち上げ	

手順書

順番	標準時間	手順名(下段:作業内容/ポイント)
1		01ガス検量確認 アセチレンガスを繋げる 流量0.3以上、圧力0.1以上あるかを確認する。 無い場合は中村酸素に電話して購入のこと。 溶解アセチレン(40L)
2		02コンプレッサ立ち上げ コンプレッサは三箇所のを締めてからスイッチを入れる
3		03排気扇確認 本体上部の換気扇が回っていることを確認する
4		04本体電源ON 本体の電源を入れる AA-6800のアイコンをクリック

1 分析業務 2 機械操作のマニュアル

分析作業をフローチャート化し、図や写真を用いたマニュアルを作成したことで新人教育が大きく改善し、作業現場にすぐに馴染めたと感じます。また作業の注意点が分かり

やすく、事故の防止や業務の効率化に役立ちました。今後もマニュアルの更新を続け、技術の向上や精度の改善につなげていきたいと考えています。



環境計量室 道方室長

## 》 ⑥環境計量室の取組み 》 2)環境測定の実施

場所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場(回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.014	0.25	2017/10/16
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup>	7	700	2017/10/16
	硫黄酸化物	m <sup>3</sup> /h	定量下限値未満	6.05	2017/10/16
	窒素酸化物	ppm	52	-	2017/10/16
	ダイオキシン	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.21	10	2017/10/16
本社工場(ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.021	0.25	2017/9/21
	塩化水素	mg/m <sup>3</sup>	定量下限値未満	700	2017/9/21
	硫黄酸化物	m <sup>3</sup> /h	0.66	5.3	2017/9/21
	窒素酸化物	ppm	120	-	2017/9/21
	ダイオキシン	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.097	10	2017/9/21
本社工場(環境放流水)	BOD	mg/l	2.8		2017/6/22
	COD		22		2017/6/22
	SS		10		2017/6/22

\*窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。  
\*環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。

### 測定機関

- 本社工場(回転炉床式焼却炉): ㈱エヌ・イーサポート
- 本社工場(ロータリーキルン炉): ㈱エヌ・イーサポート
- 本社(環境放流水): ㈱カンサイ

作業環境測定	
場所	管理区分
本社工場(回転炉床式焼却炉)	第1管理区分
本社工場(回転炉床式焼却炉)	第1管理区分

### 測定機関

- MHIソリューションテクノロジーズ

### 取組み

- 本社工場では、ダイオキシン測定・排ガス測定など各環境測定を外部機関に依頼し実施をしました。

### 実績・評価

- 各測定外部機関による各測定結果も、上記一覧表通り良い結果でした。3年前にバグフィルターを設置したことにより回転炉床の排ガスが高效率除去できダイオキシン値等は基準値を大幅に下回りました。

### 今後

- 今後も施設の適正管理に努めるとともに、各測定を外部機関に依頼し実施をしていきます。



ダイオキシン測定計量証明書



環境計量士 道方室長

弊社の特定施設における環境測定を51期も実施しました。上記結果表の通り、大気汚染防止法及びダイオキシン類特別措置法の規制対象項目の測定結果は基準値以下でした。

また、特定作業場での作業環境測定結果も第1管理区分の評価となりました。今後も引き続き施設の適正管理を実施し、良好な環境運営を行っていきたくと思っています。

## 》 ⑦エコアクション21事務局の取組み 》 1)社内コミュニケーション ①社員研修旅行

### しまなみウォーキング

- 昨年の富士登山に続き、会社の一層のステップアップと社員一同の新しい挑戦、団結力を目的として、5月27日に、社員16名でしまなみ海道の伯方島から瀬戸田約19kmをウォーキングしました。

### 感想

- 当日はこれ以上ない晴天のなか伯方S・Cパークを出発。大三島大橋を渡り、途中道の駅多々羅しまなみ公園でお弁当を食べ、二つ目の橋である多々羅大橋の絶景を眺めつつ瀬戸田を目指しました。

ウォーキングは4チームに分かれ、4人1組でゴールを目指し、ほぼ全員が歩ききることができました。道中は普段の仕事から離れ、会話も弾み良いコミュニケーションが図れました。また、ウォーキング後は温泉で汗を流しその後、懇親会をしました。完歩した達成感とビールは格別でした。

今回は参加者が少なかったため、次回はより多くの方が参加できる企画を検討したいと思います。



1 伯方S・Cパーク出発 2 多々羅大橋にて

## 》 ⑦エコアクション21事務局の取組み 》 2)研修・レベルアップ ①環境力道場

### 環境力道場とは?

- 環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごく意見をぶつけ合い互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。外部講師(環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノエ先生)を招いて実施しています。

### 活動内容

- 廃棄物業界の最新情報や地球温暖化問題等を幅広く学び、今後の事業展開を模索しました。
- 46期(2013年度)から始まった環境力道場は、メンバー・頻度を変えながら継続して行っております。51期は道場第4期目になりました。50期までは、各部署からの選抜メンバーで行っていましたが、51期は部署ごとでの開催を行いました。そのため、部署内の問題点、今後の課題を部内で周知することができ、連携も深まりました。
- 50期に作成したカンサイ理念手帳について勉強会を行い、内容の理解を深めました。

### 今後

- 環境力道場で議論した事案を、各部署ごとに実行に移すための努力を行い、成果に繋げていきます。
- 各部署ごとの成果が部門間の連携に繋がるよう努めます。
- カンサイ理念手帳の勉強会を続け、その理念が日々の仕事に活かされるよう努めます。



1 業務部道場 議論の様子 2 カンサイ理念手帳勉強会の様子

## 7 エコアクション21事務局の取組み 2) 研修・レベルアップ ② カンサイ理念手帳

### カンサイ理念手帳(フィロソフィー)とは

- フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。私たちカンサイは、「人と人との調和・人と自然との調和を大切に」して、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

### 取組み

- 終礼時に一日一項目を読み上げて、記載されているような行動ができていたか、また、日々の気付きを共有しました。

### 今後

- 50期に完成した理念手帳の内容を全社員で共有し、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



本社工場終礼の様子

## 7 エコアクション21事務局の取組み 2) 研修・レベルアップ ③ 資格取得

資格名	取得者数(50期)	取得者数(51期)	資格名	取得者数(50期)	取得者数(51期)
環境計量士	1	1	第二種酸素欠乏危険作業主任者	13	13
特別管理廃棄物処理業(処分過程)	1	1	アーク溶接	5	6
特別管理廃棄物処理業(収集運搬)	1	1	高所作業車	3	3
産業廃棄物処理業(処分過程)	1	1	特定化学物質等作業主任者	7	7
産業廃棄物処理業(収集運搬)	1	1	有機溶剤作業主任者	4	4
産業廃棄物焼却施設技術管理士	1	1	玉掛	6	6
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1	1	足場	3	3
作業環境測定士	1	1	車両系建設機械(整地等)	11	11
臭気判定士	1	1	小型移動式クレーン	6	6
2級土木施工管理技士	4	5	フォークリフト	8	8
計量証明事業主任計量者	1	1	高圧洗浄作業	3	3
一般毒物劇物取扱者	1	1	職長教育	3	3
危険物取扱者(乙種第4類)	2	2	下水道管路管理技士	1	1
危険物取扱者(丙種)	1	1	小型ボイラー取扱業務	1	1
第一種安全衛生管理者	5	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	2	4
運行管理者	2	2	廃棄物焼却施設(ダイオキシン類)作業指揮者	2	2
安全運転管理者	2	2	第二種電気工事士	2	3
二級ボイラー	1	1	ガス溶接	1	3

### 取組み

- 資格取得へのチャレンジでは、本社工場で「廃棄物焼却施設に関する業務特別教育」を2名「ガス溶接」を2名「第二種電気工事士」を1名取得しました。
- 業務部では「2級土木施工管理技士」を1名取得しました。

### 実績・評価

- 必要な技能や教育を計画的に取得することができました。

### 今後

- 52期も必要な資格取得はもちろんのこと、社員のレベルアップのため、資格取得にチャレンジしていきたいと思っています。

## 7 エコアクション21事務局の取組み 3) 社外活動 ① ボランティア

### 取組み

- 平成30年2月17日に広島市安佐北区大河原と狩留家町の道路沿線において、不法投棄廃棄物の撤去活動を行いました。

### 実績・評価

- 資源循環協会員44社102名、地元住民59名、広島市職員18名、環境省広島事務所2名の計181名で活動しました。回収した廃棄物は、集積場で分別作業を行った後、種類に応じた処理施設を有する企業を持ち帰りました。カンサイも廃プラ等を8㎡を持ち帰り処理を行いました。

### 今後

- 今後も資源循環協会等が主催するボランティア活動等には積極的に参加していきます。

品目	回収量	処理先
可燃ごみ・不燃ごみ	10㎡	広島市
廃タイヤ・廃家電等		
廃プラ等可燃物	28㎡	協会員
金属くず等	6㎡	
がれき類等	6㎡	
合計	50㎡	



分別作業の様子

## 7 エコアクション21事務局の取組み 3) 社外活動 ② 災害支援活動

平成30年7月6日から8日にかけて、西日本を中心に豪雨災害が発生しました。広島県内でも500mmを超える降水量を記録し、100名以上の多くの犠牲者がでました。

### 活動内容

- 日本下水道管路管理業協会の要請により、弊社も災害支援に参加しました。支援内容は被災地の下水管に流入した土砂を吸引車両で撤去する作業でした。下水管内の土砂撤去ができる企業は多くなく、特殊車両と技術が必要です。日々の仕事で培ってきた経験を活かして災害支援ができました。

### 今後

- 災害はないに越したことはないのですが、地球温暖化が深刻になっている今日、いつ何処で起こるかわかりませんので、災害が発生した時には日本下水道管路管理業協会と連携し迅速に災害支援を行っていきます。



災害支援の様子

### ⑦エコアクション21事務局の取組み 》 3)社外活動 ③赤十字サポーター

平成30年9月に、日本赤十字社 広島県支部 赤十字サポーターに加入しました。

#### 赤十字サポーターとは

- 赤十字活動を継続して支援する企業を「赤十字サポーター」として認証し、CSRや社会貢献活動におけるパートナーシップです。国内の災害救援活動など様々な赤十字の事業に対し、活動資金での支援や企業・団体の関連事業による協力を通じて、サポートする取組みです。

#### 取組み

- この度の、平成30年7月豪雨や近年の自然災害を目の当たりにし、社会貢献の一環として「赤十字サポーター」に加入し資金面等の支援をしていきます。



赤十字サポーター認定証

### ⑦エコアクション21事務局の取組み 》 4)新しい会社案内・ロゴマーク作成

平成30年1月に、会社案内用パンフレットと会社のロゴマークを一新しました。

また、節目としてカンサイの半世紀をまとめた年表も作成しました。

#### 会社案内

- 表紙には「環境のカンサイ」と言うキャッチコピーを掲げています。本文にもページ毎にキャッチコピーを掲げ、カンサイの事業内容や企業理念を実際の写真を使用し、わかりやすく説明しています。

#### ロゴマーク

- 企業理念である「人・社会・環境の調和」をモチーフとしたマークです。「人・社会・環境」の三つのキーワードを、それぞれ、動きや勢いを感じさせる大小の三角形で表しています。
- 三つの三角形の調和を実現し、安定した世界を創造していく。その企業の想いを、KANSAIの「K」や「人」の文字で示しています。

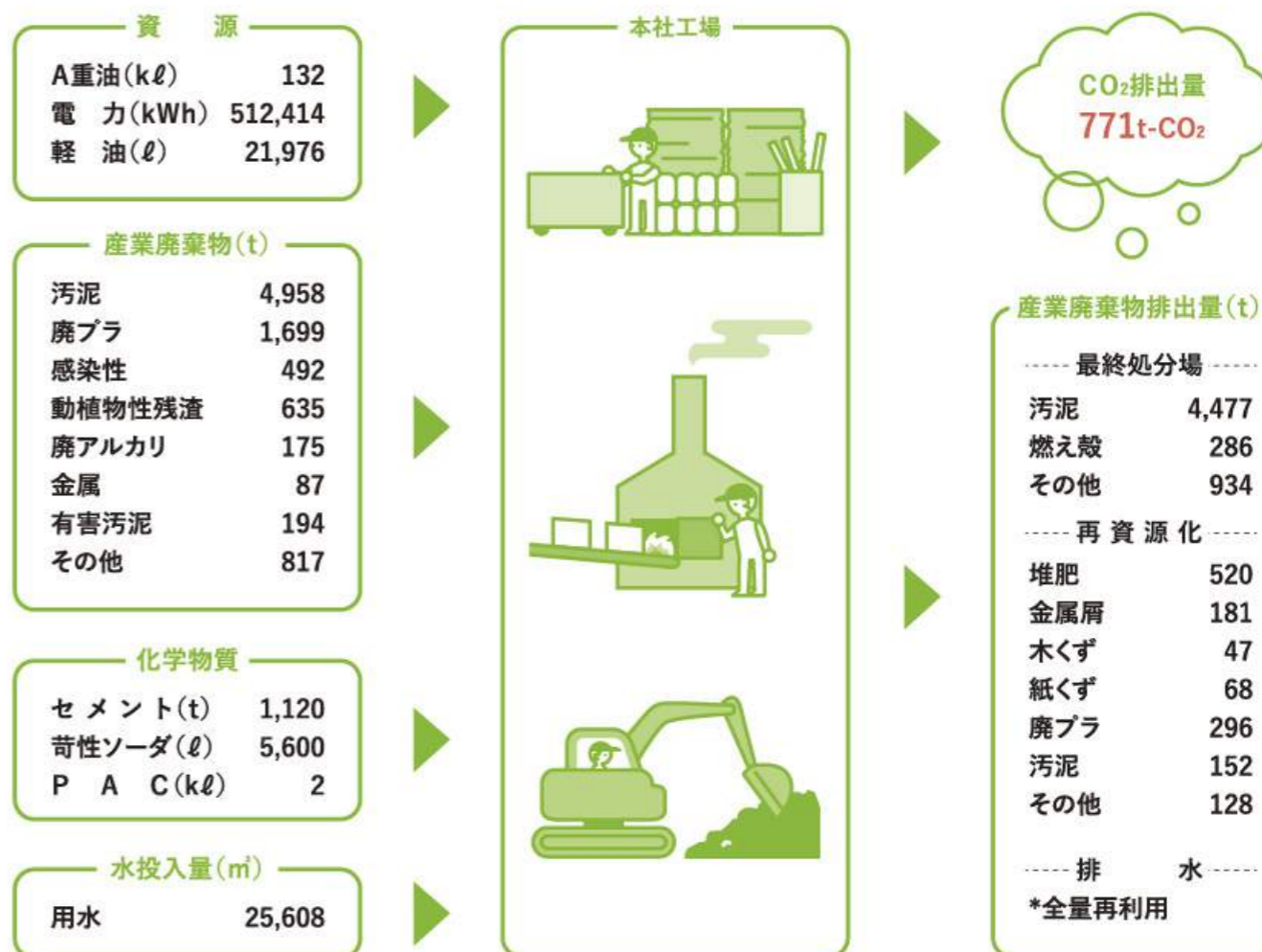


会社案内 表紙

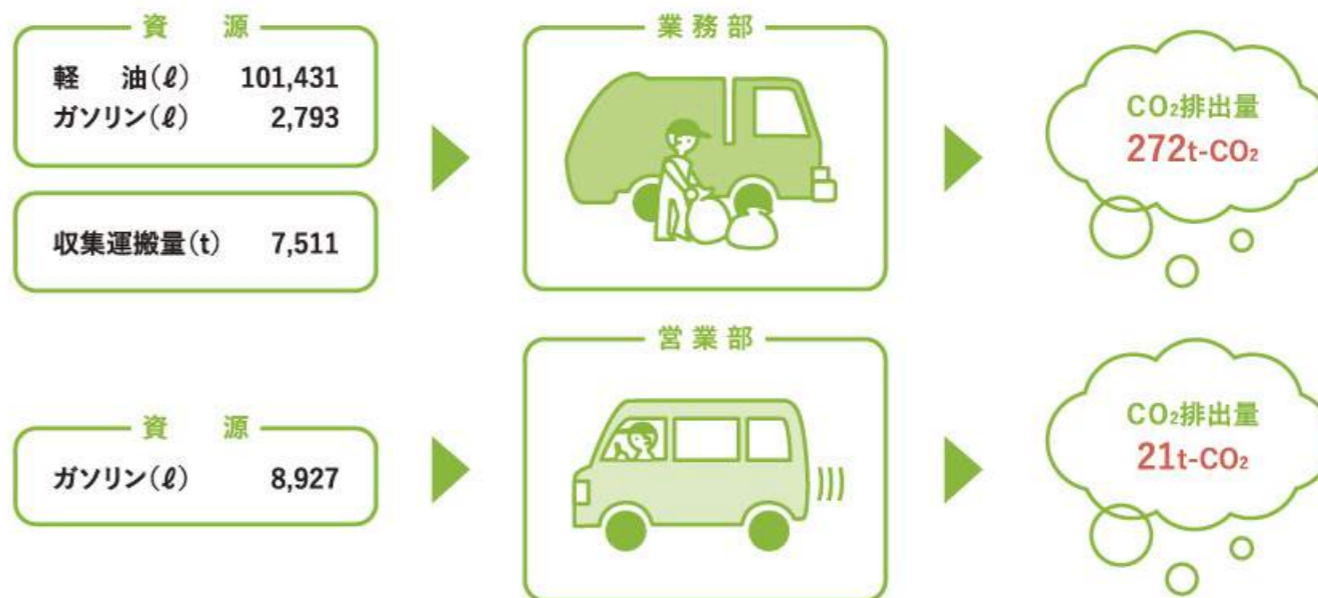


カンサイ新ロゴマーク

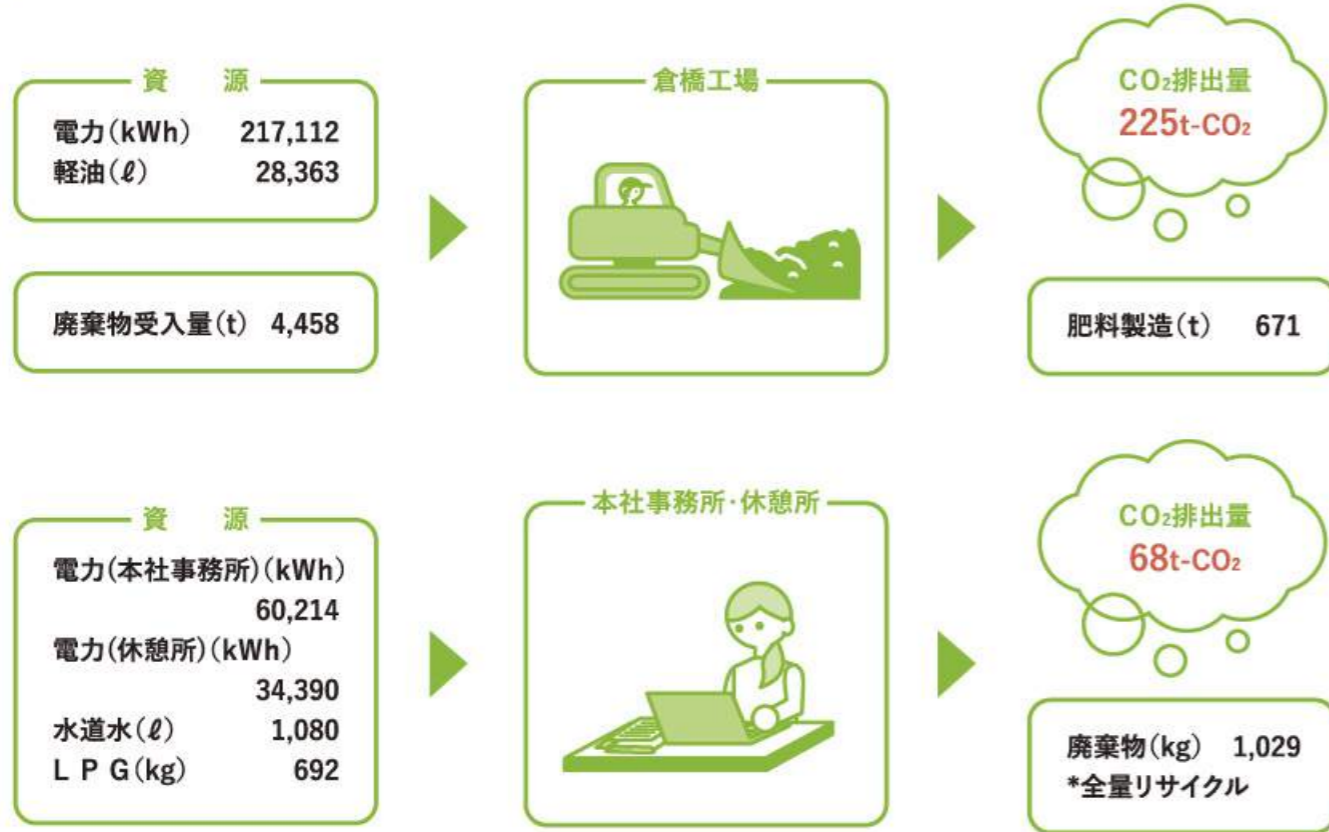
### 》 環境負荷の各部署全体像



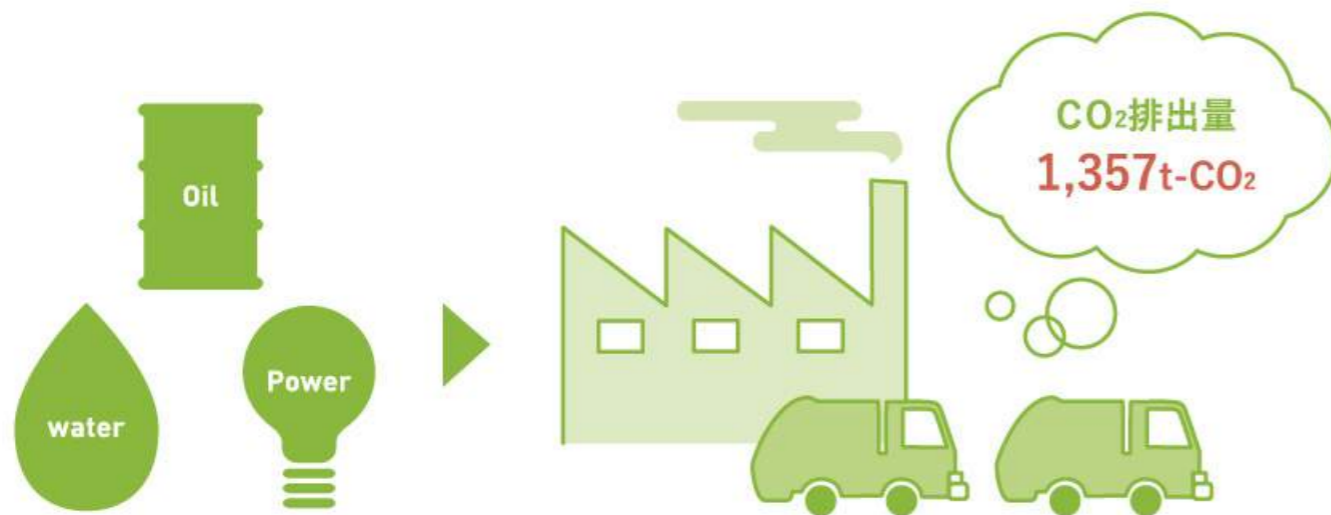
\*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が15.4%と低いのですが、前期より6.2%向上しています。今後もリサイクル困難廃棄物を分別してリサイクル率向上に努めます。



### 環境負荷の各部署全体像



### カンサイ全体の環境負荷



## 07 52期の環境活動計画

※52期も引き続き、環境力道場を部署単位で開催して、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門	
重点取組み	環境力道場での社員教育	基本的な環境問題の講義	通年	全社員	
		部署内の課題を抽出し、解決する 部署ごとに3ヶ年計画を策定する			
環境	(1)回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場	
	(2)業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 管理体制の強化	通年	業務部	
	(3)営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部	
	(4)重機の軽油使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年	倉橋工場	
	(5)事務所電力使用量の削減	こまめな節電 照明のLED化	通年	総務部	
	(6)ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員	
	(7)場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場	
	(8)施設の改善	分別機の稼働 老朽設備の更新計画の作成と実施	通年	本社工場 倉橋工場	
	(9)在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場	
	(10)緊急事態(自然災害)への対応	自然災害へのリスク調査(中期計画)	通年	本社工場 倉橋工場	
	(11)各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場	
	(12)燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室	
	(13)環境活動レポートの作成	11月初旬に51期版を発行	9~10月	EA21推進メンバー	
コミュニケーション	(1)ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署	
	(2)情報の共有化	新システム運用によるスケジュール管理	通年	営業部	
	(3)社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝する	通年	総務部	
		永年勤続者の表彰			
	(4)家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部	
		家族会の企画・実施	6月	総務部	
	(5)ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部	
	(6)仕事の共有と効率化	経営企画会議の開催	年2回	各部門長	
教育	(1)自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局	
	(2)資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署	
	(3)知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署	
	安全衛生	(1)1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部
		(2)交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
(3)飲酒運転禁止		アルコールチェッカーの運用(基準値0mg)	通年	業務部	
(4)5S活動の推進(整理・整頓・清掃・清潔・躰)		毎週金曜日の清掃活動	通年	全部署	
(5)安全衛生協議		月次報告会内にて設置	月/1回	EA21事務局	



数年前より、カンサイの環境レポートをみてきましたが、今年は従来のものより情報量も増え、読みやすくなってきたと感じます。特に、パリ協定の動きも見据えCO<sub>2</sub>排出量について各部署で経年変化を記録しそれを全体で総括している点や、環境活動の結果とその要因についてしっかり評価し改善策につなげている点は評価できます。また社外活動も事業に関わるだけでなく、災害支援や赤十字活動にも参加するなど幅が広がっていることが見て取れます。施設の老朽化や猛暑などの影響で、CO<sub>2</sub>の大幅削減が困難な状況にあるようですが、常に「脱炭素」を意識し継続的な取組を進めていく中で、改善の効果も少しずつ出てくると期待しています。

また、数年前から「環境力道場」を継続していますが、今期は社員全員が道場に参加し、環境の知識の習得に努めるとともに、会社の持続性を向上させる上での各部署の課題は何か、改善のためにどのような工夫が必要かなどについても議論してきました。

以前より、カンサイの社員が、会社をより持続的に発展させたい、廃棄物処理・資源循環を通じて地域や社会に貢献したいという気持ちを持ち、それぞれに与えられ期待される役割を果たしていこうという熱意を持っていることは感じていました。しかし、全員参加の今回の道場を通じて、各部署が抱える課題を社内全体のコミュニケーションと連携の強化により解決していこうという意欲が芽生えたことはうれしいことであり、その熱意と覚悟はレポートからも伝わってきます。

その一方でまだこれからという点もあります。

カンサイは、人と自然との調和を大切に、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の発展に貢献し続けたいと宣言しています。社員全体の環境力は、道場を通じて、かなり底上げされたと感じていますが、残念ながら、いまだ「環境創造総合企業」の域には達していないように感じられます。今後は、いかにして、道場で多くの学び、道場の中で生まれたコミュニケーション力や連帯して課題解決に当たる力、さらに『カンサイ手帳』に綴られた精神を、「環境創造総合企業」という目標実現のために活かしていくか、名実ともに、そのスローガンにふさわしい会社に成長していくかが問われています。

カンサイは半世紀前にごみを衛生的に処理することから出発し、産業廃棄物の近代的な処理、有用な物質のリサイクルへと進み、今は地球温暖化を引き起こすCO<sub>2</sub>削減も踏まえた資源循環へと業容を拡充しています。この実績と経験、環境力道場や環境レポート作成過程での学びにより、環境全般に目を向けた創造・総合への基盤はようやく整いつつあるように感じます。

その方向に、川本社長を筆頭に社員全員が一丸となって、着実に進むことを期待しています。

2018年10月  
環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

## ① 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容
環境基本法	第8条	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業活動に伴い生じる公害を防止する</li> <li>●事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置</li> <li>●事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用</li> <li>●国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力</li> </ul>
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う</li> <li>●生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る</li> <li>●マニフェストの交付、管理の遵守</li> </ul>
水質汚濁防止法 及び広島県公害防止条例	第5条	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する</li> <li>●水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する</li> <li>●健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る</li> </ul>
騒音規制法	第5条	●騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
振動規制法	第5条	●振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
悪臭防止法	第4条	●悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
大気汚染防止法	第2条	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する</li> <li>●自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する</li> <li>●健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る</li> </ul>
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	●ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	●事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する
消防法	第17・21条	●国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
肥料取締法	第4条	●肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する
建設業法	第3条	●建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する
建設リサイクル法		<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する</li> <li>●登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る</li> </ul>
道路運送車両法		●所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る
毒物及び劇物取締法	第4条	●毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う
計量法	第10条	●計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保
高圧ガス保安法	第9条	●高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する
放射線障害防止法		●放射性同位元素の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する
労働安全衛生法		<ul style="list-style-type: none"> <li>●労働災害の防止のための危害防止基準の確立</li> <li>●責任体制の明確化及び自主的活動の促進</li> <li>●職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する</li> </ul>
古物営業法		●盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる
フロン排出抑制法	第16条	●機器使用環境の維持保全、簡易点検

## ② 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。

産業廃棄物収集運搬業許可一覧				
許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	平成33年09月01日	◎	平成26年09月02日
岡山県	第03307004558号	平成35年06月18日	◎	平成28年07月01日
島根県	第3200004558号	平成30年11月07日		平成25年11月08日
山口県	第03500004558号	平成30年11月24日		平成25年11月25日
鳥取県	第03104004558号	平成33年07月05日	◎	平成30年07月06日
愛媛県	第3805004558号	平成37年08月28日	◎	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	平成34年09月04日	◎	平成27年09月05日
徳島県	第3600004558号	平成35年10月23日	◎	平成28年11月08日
香川県	第03709004558号	平成35年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02803004558号	平成34年08月30日	◎	平成27年08月31日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧				
許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	平成35年11月28日	◎	平成28年11月29日
岡山県	第03357004558号	平成35年06月18日	◎	平成28年07月01日
島根県	第3250004558号	平成35年09月02日	◎	平成28年09月03日
山口県	第03550004558号	平成30年11月24日		平成25年11月25日
鳥取県	第03154004558号	平成31年02月01日		平成26年02月02日
愛媛県	第3855004558号	平成37年08月28日	◎	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	平成34年09月04日	◎	平成27年09月05日
徳島県	第3650004558号	平成35年10月23日	◎	平成28年11月08日
香川県	第03759004558号	平成35年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02853004558号	平成34年08月30日	◎	平成27年08月31日

産業廃棄物処分業許可一覧				
許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	平成34年03月21日	◎	平成27年03月22日
呉市	第07422004558号	平成37年07月28日		平成30年07月29日

特別管理産業廃棄物処分業許可一覧				
許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	平成34年09月27日	◎	平成27年09月28日

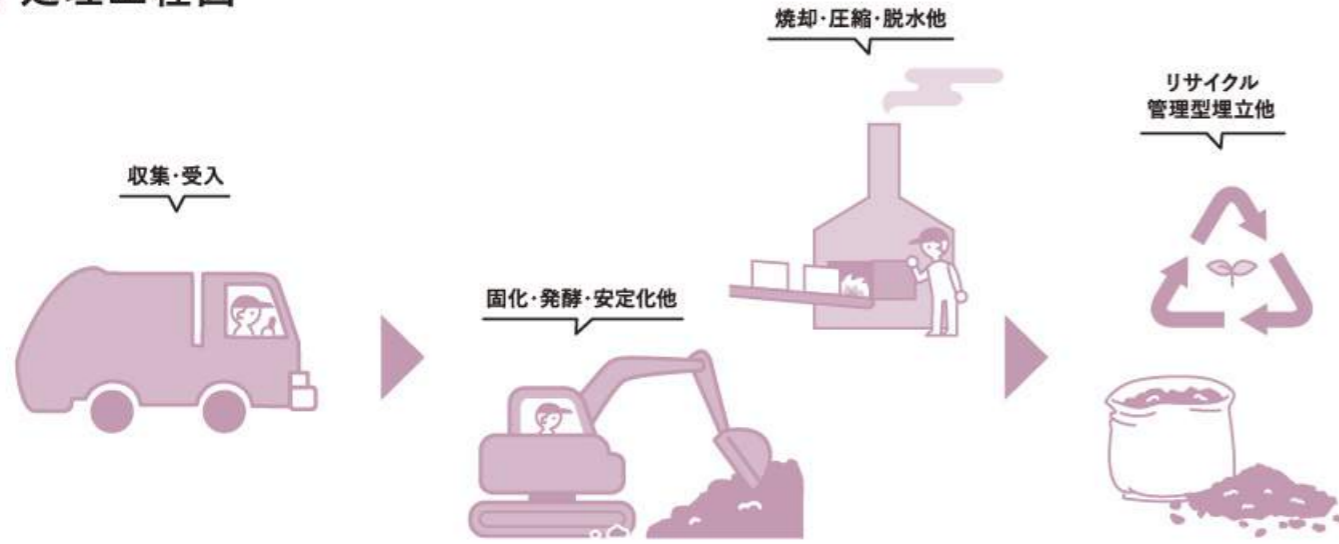
施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
二軸剪断式破碎施設	破碎	木くず6.0t/日・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・他	本社工場
電気ヒーター熱分解方式	熔融	50m <sup>3</sup> /時	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
固化施設	固化	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m <sup>3</sup> /日	本社工場
連続中和装置	中和	48m <sup>3</sup> /日	本社工場
安定化処理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬	産業廃棄物処分業	区分	産業廃棄物収集運搬	産業廃棄物処分業
燃え殻	○		ゴムくず	○	○
汚泥	○	○	金属くず	○	○
廃油	○	○	ガラス・陶磁器くず	○	○
廃酸	○	○	鉱さい	○	
廃アルカリ	○	○	がれき類	○	
廃プラスチック類	○	○	動物のふん尿	○	
紙くず	○	○	動物の死体	○	
木くず	○	○	ばいじん	○	
繊維くず	○	○	産廃処理物	○	
動植物性残渣	○	○	石綿含有産廃を含む	○	
動物系固形不要物	○	○			

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業	区分 (特定有害産業廃棄物)	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
廃油	○	○	燃え殻	○	○
廃酸	○	○	汚泥	○	○
廃アルカリ	○	○	廃油	○	○
感染性産業廃棄物	○	○	廃酸	○	○
			廃アルカリ	○	○
			鉱さい	○	○
			ばいじん	○	○



## 処理工程図

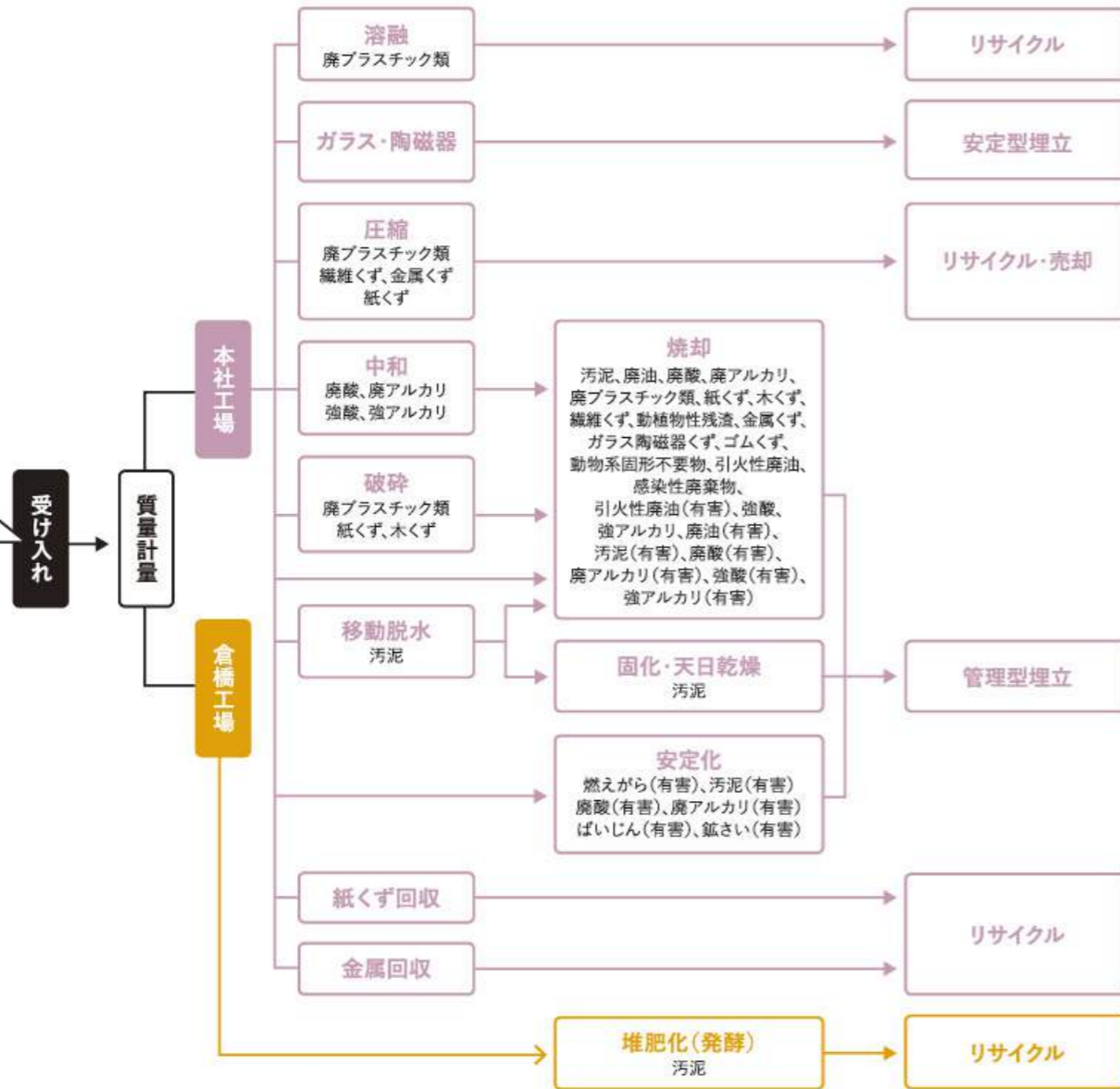


### 産業廃棄物

- 汚泥
- 廃油
- 廃酸
- 廃アルカリ
- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 木くず
- 繊維くず
- 動植物性残渣
- 金属くず
- ガラス陶磁器くず
- 動物系固形不要物
- ゴムくず

### 特別管理産業廃棄物

- 引火性廃油
- 引火性廃油(有害)
- 強酸
- 強酸(有害)
- 強アルカリ
- 強アルカリ(有害)
- 感染性廃棄物
- 燃えがら(有害)
- 廃油(有害)
- 汚泥(有害)
- 廃酸(有害)
- 廃アルカリ(有害)
- ばいじん(有害)
- 鉱さい(有害)



## 収集運搬車両数量等

<p><b>吸引車 (10t/4t) : 4台</b></p> <p>吸引車は、大風量のブロワでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。</p>	<p><b>ダンプ車 (10t/3t/2t) : 5台</b></p> <p>スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。</p>	<p><b>ウイング車 (8t/4t/2t) : 3台</b></p> <p>主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。</p>
<p><b>コンテナ車 (10t/4t) : 6台</b></p> <p>お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。</p>	<p><b>ユニック車 (4t) : 2台</b></p> <p>トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。</p>	<p><b>パッカー車 (2t) : 3台</b></p> <p>街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、積載できる量は2tと多い車両です。</p>

軽バンなどを合わせると全29台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)
大型吸引車	1540	8850	4tアームロール	8156	4000	4tユニック	3465	2850
大型吸引車	1758	7370	4tアームロール	1851	4050	4tユニック	3284	2550
4t吸引車	4707	2900	3tアームロール	1581	3000	軽ダンプ	4412	350
4t吸引車	8126	2470	2tアームロール	2843	2000	軽バン	3392	350
8tウイング	2838	6800	4t水密ダンプ	8840	3600	軽バン	4710	250
4tウイング	3086	2250	3tダンプ	4801	3000	軽バン	621	350
2tウイング	2509	1500	3tダンプ	8859	3000	TV車	9003	-
大型ダンプ	3762	9800	2tダンプ	3425	2000	洗浄車	7428	-
大型平ボディ	7480	14100	2tパッカー	8623	2000	給水車	7379	-
大型アームロール	2710	10900	2tパッカー	8624	2000			
4tアームロール	5565	3900	2tパッカー	8625	2000			

》全体の評価

全従業員とその家族、お客様と協業下さる関係者の支えもあり、株式会社カンサイは51期を無事に終えることができました。心から感謝いたします。

本社及び本社工場周辺は、都市計画による整備が行われ、弊社を取り巻く環境もこの数年で激変しました。また地球温暖化による酷暑、ゲリラ豪雨による土砂災害、大型台風の襲来と自然災害による被害も甚大なものになっております。小さなことの積み重ねでしか対応できませんが、より良く働ける労働条件と環境の整備を継続的に行って参ります。

弊社の環境活動レポートには、小さなことの積み重ねが詳細に書かれています。遠きをはかる経営を行っていくには、こうした小さなことの積み重ねが大切であると考えています。これからも一日一日を大切に取組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

株式会社 カンサイ  
代表取締役

川本 義二

昨年は、環境省主催の環境コミュニケーション大賞の環境活動レポート部門にて優良賞を受賞することができました。今期のレポートも応募する予定ですので、さらに多くの方に読んでもらい弊社の取組みをより知っていただくことができれば幸いです。

今年は、私たちが暮らす広島に豪雨災害がおき甚大な被害をもたらしました。地球温暖化が深刻をましている昨今、何処でも起こりうる事象です。カンサイとして、二酸化炭素排出量を把握し削減する努力を社員自らが取組むことで、地球温暖化抑制に寄与し、社員の子どもたちだけでなく次世代に今の環境を引き継げるように、レポート作成を通じて取組みと発信ができればと思います。

また、今後カンサイにおけるSDGs(持続可能な開発目標)は何かを検討し、持続可能な社会づくりに貢献していき、レポートの発行により情報を発信していきたいと思ひます。

環境管理責任者  
北川 貴伸



KANSAI

**カンサイの未来は?**  
グリーンAI(廃棄物選別ロボット)から進化した運搬からリサイクルまでをこなすパーフェクトエコロボットができるか?!

家族会 富士山登山  
社内の美化にも頑張ろう。  
SOS! 猫が下水管に! レスキュー隊の役目も。  
早朝の町内ゴミ拾い。〇〇とか〇〇〇、発見。  
工場見学会で安心安全を。  
肥料の実験畑、きなり村オープン  
ISO14001認証取得  
エコアクション21認証取得  
エコアクション21へシステム移行  
地域住民の方々による 本社工場見学、開始  
ドリームメーカー 川本義勝社長登場  
CI導入・新しいロゴマーク誕生。  
これらもすべて、カンサイブランドを世の中に浸透させていきます。

**<2010年代>**  
2017年(平成29) 東北新幹線全線開通  
2016年(平成28) 東日本大震災 九州新幹線全線開通  
2015年(平成27) 東京スカイツリー開業 アペノミクス  
2014年(平成26) 富士山が世界遺産に。2020夏季五輪開催地が東京に決定  
2013年(平成25) 消費税8%に増税  
2012年(平成24) 広島土砂災害  
2011年(平成23) マイナンバー制度導入  
2010年(平成22) パリで同時多発テロ  
2009年(平成21) プレミアムフライデー 広島東洋カープ、連覇

**<2000年代>**  
1999年 世界の人口が60億突破  
2000年 ミレニアム  
2001年 アメリカ同時多発テロ 小泉構造改革 サッカーW杯日韓共催  
2002年 六本木ヒルズ完成  
2003年 おれおれ詐欺 冬ソナ  
2004年 鳥インフルエンザ  
2005年 日本の人口が初めて減少  
2006年 ロハスブーム  
2007年 地デジ・ワンセグ 郵政民営化  
2008年 政権交代  
2009年 コアミ劇場  
2010年 日ハス  
2011年 オレオレど  
2012年 エルズド  
2013年 WORLD CUP  
2014年 ヨンとち...

2013年6月26日、ユネスコの世界遺産会議で、国内最高峰の独立峰、富士山(山梨、静岡両県)が世界文化遺産に登録された。正式名称は「富士山一帯仰の対象と芸術の源泉」。

昨今、富士山のゴミ問題が深刻化。不法投棄された大量のゴミが景観を乱し、地下水や土壌などの環境を汚染し続けている。

Yes, We can!